

別 冊

胆振東部消防組合のあゆみ

昭和46年

1971年

7月 1日 地方自治法第284条第1項により胆振東部消防組合を設立する。

(地方第1121号指令)

早来町、追分町、厚真町、鶴川町、穂別町の5町で構成し、厚真町に消防本部を設置した。

初代胆振東部消防組合管理者に井上正則氏（厚真町長）が互選され、胆振東部消防組合議会第1回臨時会を開催、構成町の町長4名及び構成町議会選出議員6名を招集し、議案を審議し原案可決した。

胆振東部消防組合議会

議 長	寺 本 幸 助	(鶴川町議会)
副 議 長	宮 本 正 一	(厚真町議会)
議 員	磯 部 義 光	(早来町長)
議 員	飛 田 重 蔵	(早来町議会)
議 員	中 村 喜 一	(追分町長)
議 員	織 田 要	(追分町議会)
議 員	森 宏	(厚真町議会)
議 員	門 山 義 雄	(鶴川町長)
議 員	中 村 耕 平	(穂別町長)
議 員	横 山 良 夫	(穂別町議会)

胆振東部消防組合理事者等

管 理 者	井 上 正 則	(厚真町長)
副管理者	亀 井 一 雄	(厚真町助役)
収 入 役	森 本 頼 賢	(厚真町収入役)
監査委員	長谷川 朝 一	(知識経験者)
監査委員	横 山 良 夫	(議会選出)

胆振東部消防組合職員

(消防本部・消防署・支署)

消 防 長	管理者事務取扱
消 防 本 部 次 長	菅 原 辰五郎
警 防 課 長	佐 藤 重 瑠
総 務 課 長 補 佐	青 木 一 夫
消 防 署 長	次 長 兼 務
消防署早来支署長	山 路 光 二
消防署追分支署長	神 戸 外 吉
消防署厚真支署長	谷 垣 俊 次
消防署鶴川支署長	伊 東 定 良
消防署穂別支署長	吉 田 金 次 郎

総員26名の職員（苫小牧市消防本部から派遣2名、構成町から派遣14名、消防組合新規採用者10名）を消防吏員に任命し、消防本部並びに各支署（消防本部3名、早来支署3名、追分、厚真、鶴川、穂別支署各5名）に配置した。

胆振東部消防組合消防団

早来消防団	団長	小泉儀蔵	(団員110名)
追分消防団	団長	小野寺新平	(団員57名)
厚真消防団	団長	土屋由造	(団員80名)
鶴川消防団	団長	寺本幸助	(団員100名)
穂別消防団	団長	横山良夫	(団員100名)

総数447名が胆振東部消防組合消防団員に任命された。

- 7月26日 消防本部に指揮広報車（トヨタMS62型）を購入配置した。
- 8月20日 消防署鶴川支署に救急自動車（トヨタRH11G型）を日本消防協会からの補助により購入配置した。
- 8月21日 組合議会第2回臨時会を開催した。
- 8月30日 鶴川消防団に消防ポンプ自動車を購入し第三分団に配置した。
- 9月1日 消防職員2名を採用（早来、追分支署各1名）した。
- 9月14日 胆振東部消防組合設立記念式典並びに消防本部、消防署厚真支署、厚真消防団合同庁舎（鉄筋コンクリート造2階建474.66㎡）の新築落成式典を挙行了した。
- 10月11日 消防署早来支署に水槽付消防ポンプ自動車を購入配置した。
- 10月13日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 12月10日 消防署早来支署、早来消防団合同庁舎（鉄筋コンクリート造2階建471.08㎡）の新築落成式典を挙行了した。
- 12月15日 組合議会第3回臨時会を開催した。
- 12月17日 消防署穂別支署に救急自動車（トヨタMS66型）を日本赤十字社の委託により配置した。
消防職員待機宿舎5棟13戸（消防本部～木造平屋建1戸59.60㎡、厚真支署～木造2階建1棟4戸198.72㎡、早来支署～木造平屋建2棟4戸218.16㎡穂別支署～コンクリートブロック造平屋建1棟4戸158.76㎡）を建設した。

国内の主な事故・災害

- 7月3日 東亜国内航空YS-11型機が函館空港着陸途中横津岳山腹激突事故 死者68名
- 7月17日 歌志内炭坑でガス突出事故 死者30名 負傷者65名
- 7月30日 岩手県雫石上空で全日空B727機が自衛隊機と衝突事故空中分解 死者167名

昭和47年

1972年

- 1月31日 消防署厚真支署に水槽付消防ポンプ自動車を購入配置した。
- 3月7日 組合議会第1回定例会を開催した。

- 3月11日 追分町の滝 都氏より指揮広報車（トヨタマークⅡ）の寄贈を受け追分消防団に配置した。
- 4月 1日 消防職員20名を採用（消防本部5名、早来支署8名、追分支署6名、厚真支署10名、鶴川支署10名、穂別支署9名）し、各支署の配置人員を増強した。
- 4月20日 穂別消防団に小型ポンプ積載車（トヨペットスタウト）を購入し、第四分団に配置した。
- 5月17日 鶴川消防団が優秀消防団として、北海道消防協会から表彰旗が授与された。
- 7月 1日 消防署厚真支署上厚真分遣所を開設し、消防職員1名を常直配置した。
- 7月 8日 管理者井上正則氏が退任し、谷内信雄氏（厚真町長）が構成町長の互選を受け管理者に就任された。
- 7月24日 組合議会第1回臨時会を開催した。
監査委員に飛田重蔵氏が選任された。
- 7月27日 胆振地方支部消防総合訓練大会を厚真町において開催した。
- 8月18日 厚真消防団に消防ポンプ自動車を購入し第二分団に配置した。
- 8月20日 北海道消防操法訓練大会にポンプ車操法の部に追分消防団が出場した。
- 9月 1日 穂別消防団長横山良夫氏の退任（穂別町長に当選）に伴い、第三分団長二ツ屋力一氏が穂別消防団長に就任された。
- 10月 1日 消防署穂別支署長吉田金次郎氏の退任に伴い、佐久間忠氏が穂別支署町に就任した。
- 10月 3日 組合議会第2回定例会を開催した。
早来消防団の団員定数を5名削減し、105名とした。
- 10月 9日 消防署早来支署に指揮広報車（日産ブルーバードU）を購入配置した。
- 11月17日 早来消防団が優秀消防団として、北海道知事から表彰旗が授与された。
- 12月 1日 消防本部の人事異動により総務課長青木一夫氏が退任（厚真町農業委員会事務局長に転任）し、吉田 研氏が総務課長に就任した。
- 12月10日 消防署穂別支署庁舎を増築（補強コンクリートブロック造平屋建70.95㎡）した。
- 12月15日 組合議会第2回臨時会を開催した。
- 12月25日 消防署穂別支署に林野火災工作車（ユニモグ406-121型）を購入配置した。
消防職員待機宿舎（消防本部～木造平屋建1棟2戸104.12㎡、早来支署～木造平屋建2棟4戸218.16㎡、穂別支署～ブロック造1戸 59.39㎡）5棟9戸を建設した。

国内の主な事故・災害

- 5月13日 大阪市南区の千日デパートビル火災 死者158名 負傷者81名
- 11月 2日 奈井江町の石狩炭鉱ガス爆発事故 死者31名(生き埋めとなる)
- 11月 6日 福井県敦賀市の北陸トンネル内で列車火災事故 死者30名 負傷者7,165名

昭和48年

1973年

- 1月23日 厚真消防団長土屋由造氏が再任された。
- 2月 9日 早来町市街地木材工場火災により、厚真・追分支署から応援出動する。

- 3月 8日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 3月31日 消防署厚真支署に救急自動車（日産セリアン3B型）を購入配置した。
鵠川消防団第四分団を解団した。
- 4月 1日 消防職員2名を採用（厚真、穂別支署各1名）した。
早来消防団長小泉儀蔵氏の退任の伴い、副団長の三谷繁松氏が早来消防団長に
就任された。
- 4月29日 元追分消防団副団長星 三郎氏が叙勲授章された。
- 5月 1日 消防職員1名を採用（追分支署）し、職員50名体制となる。
- 10月12日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 11月 5日 組合議会第1回臨時会を開催した。
- 12月 3日 穂別消防団に消防ポンプ自動車を購入し、第一分団に配置した。

国内の主な事故・災害

- 3月 8日 福岡県北九州市の済生会八幡病院火災 死者13名 負傷者 3名
- 6月18日 釧路市のオリエンタルホテル火災 死者 2名 負傷者27名
- 11月29日 熊本県熊本市の大洋デパート火災 死者103名 負傷者121名

昭和49年

1974年

- 3月 6日 組合議会定例会を開催した。
- 3月11日 議会議長寺本幸助氏（鵠川町議会議員、鵠川消防団長）が逝去された。
- 4月 1日 消防本部次長菅原辰五郎氏が消防長に就任した。
消防職員2名を採用（早来支署2名）した。
- 4月 4日 鵠川消防団団長に鈴木辰雄氏が就任された。
- 4月16日 組合議会第1回臨時会を開催した。
議会議長に宮本正一氏、副議長に秋田谷正雄氏が選任された。
- 4月29日 元早来消防団団長小泉儀蔵氏が叙勲授章された。
- 5月11日 消防署穂別支署に赤バイ（ホンダベンリー）を購入配置した。
- 6月 3日 追分消防団長小野寺新平氏の退任（6月1日付）に伴い、副団長仲野作次郎氏
が追分消防団長に就任された。
- 7月15日 組合議会第2回臨時会を開催した。
- 7月21日 胆振地方支部消防総合訓練大会を鵠川町において開催した。
- 8月12日 厚真消防団に水槽付消防ポンプ自動車を購入し、第一分団に配置した。
- 8月26日 鵠川消防団に消防ポンプ自動車を購入し、第一分団に配置した。
- 10月 1日 早来消防団の団員定数を5名削減し、100名とした。
- 11月 3日 元追分消防団団長小野寺新平氏が叙勲授章された。
- 11月10日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 12月 3日 消防本部に消防職員待機宿舎（木造平屋建1棟2戸104.34㎡）を建設した。
- 12月17日 組合議会第3回臨時会を開催した。
- 12月20日 監査委員谷川朝一氏の辞任（12月8日付）に伴い、岡部卯三郎氏が監査委員に
就任された。

国内の主な事故・災害

- 8月30日 東京都千代田区の三菱重工丸の内本社ビル爆弾テロ事件 死者 8名 負傷者 36名
- 12月18日 岡山県倉敷市の三菱石油水島製油所重油流失事故 重油42,888kl流失
- 12月19日 上砂川町の三井砂川炭鉱ガス爆発事故 死者15名 負傷者11名

昭和50年

1975年

- 3月 5日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 3月31日 消防本部警防課長佐藤重瑠氏派遣満了により苫小牧市消防本部へ復帰した。
- 4月 1日 消防職員1名を採用（早来支署）した。
- 4月 7日 消防本部警防課長に消防署追分支署警防係長菊池幸一氏が就任した。
- 4月25日 消防署穂別支署に指揮広報車（ウリスジープワゴン）を購入配置した。
- 4月29日 元早来消防団分団長目黒二郎氏が叙勲授章された。
元厚真消防団分団長馬場省一氏、同分団長萩沢彦光氏が叙勲授章された。
- 5月 2日 消防署鶴川支署に指揮広報車（トヨタマークII）を購入配置した。
- 5月12日 消防職員1名を採用（追分支署）した。
- 5月20日 組合議会第1回臨時会を開催した。
議会議長に秋田谷正雄氏、副議長に橋本正一氏が選任され、監査委員に宮本正一氏が選任された。
- 6月13日 消防職員待機宿舎（厚真支署～木造平屋建1棟2戸107.34㎡）を建設した。
- 7月31日 厚真消防団に小型動力ポンプ付積載車（日産キャブオール）を購入し、第一分団に配置した。
- 8月23日 台風6号による集中豪雨のため、管内に河川の決壊、土砂崩れ、道路・田畑の
～24日 冠水など多くの被害をもたらした。
- 8月29日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 10月 1日 消防職員1名を採用（追分支署）した。
- 12月 3日 消防署穂別支署まとい太鼓の創設期成会を発足した。
- 12月20日 組合議会第3回定例会を開催した。

国内の主な事故・災害

- 5月12日 釧路市のタンチョウ鶴営巣地林野火災 焼損面積2,700ha
- 8月21日 四国から北海道にかけて台風5号・6号による豪雨により各地に大きな被害をもたらした。 死者110名 負傷者102名 損害家屋3,129棟
- 11月27日 三笠市の北炭幌内炭鉱ガス爆発事故 死者 8名 負傷者 5名

昭和51年

1976年

- 3月 3日 厚真消防団に日本消防協会より竿頭綬が授与された。
- 3月 5日 組合議会第1回定例会を開催した。

- 4月 1日 消防職員 1 名を採用（鶴川支署）した。
- 4月13日 国鉄追分駅機関庫火災（面積3,151㎡、損害額1,397,943千円、負傷者 1 名）
- 6月12日 厚真消防団に優秀消防団として、北海道消防協会より表彰旗が授与された。
- 7月 8日 谷内信雄氏が厚真町長に当選し、管理者に再任された。
- 8月23日 組合議会第 2 回定例会を開催した。
- 9月 1日 穂別消防団団長に二ツ屋力一氏が再任された。
- 10月12日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 11月 5日 厚真消防創設70周年記念式を挙行了した。
- 12月 7日 消防職員待機宿舎（穂別支署～木造平屋建 1 棟 2 戸124.21㎡）を建設した。
- 12月25日 組合議会第 3 回定例会を開催した。

国内の主な事故・災害

- 9月 8日 全国各地に台風17号による豪雨・風水害 死者161名 行方不明10名 負傷者
～14日 537名 家屋の全半壊5,373棟
- 12月29日 山形県酒田市の大火 死者 1名(消防長殉職) 負傷者537名 焼損家屋1,774棟

昭和52年

1977年

- 1月23日 厚真消防団団長に土屋由造氏が再任される。
- 2月 1日 消防署鶴川支署長伊東定良氏の退任（1月31日付）に伴い、宮崎信夫氏が鶴川支署長に就任した。
- 3月29日 組合議会第 1 回定例会を開催した。
- 4月 1日 消防署厚真支署長谷垣俊次氏の退任に伴い、消防本部総務課長吉田 研氏が厚真支署長に就任した。
消防本部総務課長に安倍利夫氏が厚真町役場から派遣により就任した。
消防職員 2 名を採用（厚真支署 1 名、鶴川支署 1 名）した。
早来消防団団長三谷繁松氏が再任される。
- 4月13日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 7月 5日 大阪府高田久成氏、早来町吉田重男氏より救急自動車（トヨタハイエース2B型）の寄贈を受け、消防署早来支署に配置し、「テンポイント号」と称した。
- 8月10日 組合議会第 2 回定例会を開催した。
- 8月31日 早来消防団に小型動力ポンプ積載車（トヨタトヨエース）を購入し、遠浅分団に配置した。
- 9月 1日 消防職員 1 名を補充（厚真支署）した。
- 10月 4日 厚真消防団に水槽付消防ポンプ自動車（A－Ⅱ級）を購入し、第二分団に配置した。
- 10月12日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 12月21日 穂別消防団第四分団に消防自動車々庫（プレハブ造33㎡）を建設した。
- 12月26日 組合議会第 3 回定例会を開催した。
- 12月28日 鶴川消防団第二分団に分団庁舎（木造平屋建81.58㎡）建設した。

国内の主な事故・災害

- 1月～2月 北海道から本州日本海側にかけて豪雪(5 2 豪雪) 死者101名 負傷者834名
家屋の全半壊139棟 (国鉄史上最悪の2万本を越す運休)
- 2月 6日 札幌市の白石中央病院火災 死者 4名(新生児 3名) 負傷者 5名
- 5月11日 芦別市の三井石炭鉱業芦別炭鉱ガス爆発事故 死者25名 負傷者 8名
- 8月 7日 有珠山噴火

昭和53年

1978年

- 3月 7日 追分消防団に日本消防協会より竿頭綬が授与された。
- 3月27日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 3月30日 追分消防団に指揮広報車(日産ホームー)を更新配置した。
- 4月 1日 消防署厚真支署長吉田 研氏が消防署長に就任、消防署厚真支署警防係長三上由夫氏が消防署厚真支署長に就任した。
消防署穂別支署長佐久間忠氏の退任に伴い、消防署穂別支署予防係長木谷忠義氏が消防署穂別支署長に就任した。
穂別消防団団長に二ツ屋力一氏が再任される。
- 4月 2日 消防本部消防長菅原辰五郎氏の退任(4月1日付)に伴い、管理者谷内信雄氏が消防長事務取扱いに、副管理者亀井一雄氏が消防本部次長に就任された。
- 4月 4日 鶴川消防団団長に鈴木辰雄氏が再任された。
- 4月12日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
消防職員1名を補充(厚真支署)した。
- 4月25日 消防署厚真支署上厚真分遣所を厚真町役場上厚真支所から分離し、消防会館を改修し、上厚真分遣所を開所した。
- 6月 3日 追分消防団団長に仲野作次郎氏が再任される。
- 6月 9日 穂別消防団に優秀消防団として、日本消防協会より竿頭綬が授与された。
- 7月31日 消防署厚真支署庁舎を増築(木造平屋建23.14㎡)整備した。
- 8月 8日 組合議会第2回定例会を開催した。
副管理者亀井一雄氏が再任される。
- 8月 9日 穂別消防公設50周年記念式典を挙行し、同記念式典において北海道消防協会より消防署穂別支署及び穂別消防団に表彰状並びに盾が授与された。
- 8月19日 消防署長吉田 研氏に消防本部次長兼務発令された。
- 9月 6日 早来消防団に消防ポンプ自動車(日産ディーゼルUD)を購入し、早来分団に配置した。
- 10月20日 厚真町ライオンズクラブより指揮広報車(トヨタコハバン)の寄贈を受け消防署厚真支署に配置した。
- 10月25日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 10月27日 追分消防団に優秀消防団として、北海道知事より表彰旗が授与された。
- 10月31日 消防職員待機宿舎(穂別支署～簡易耐火造平屋建1棟3戸178.20㎡)を建設した。

- 11月 3日 元厚真消防団分団長山川政一氏が叙勲授章された。
- 11月15日 穂別消防団第四分団にサイレン塔兼ホース乾燥塔を建設した。
- 11月24日 追分消防創設81周年、北海道知事表彰旗並びに日本消防協会竿頭授受賞記念式典が挙行された。
- 12月24日 早来消防団遠浅分団消防車庫（61.16㎡）を改築整備した。
- 12月26日 組合議会第3回定例会を開催した。
- 12月26日 監査委員岡部卯三郎氏が再任された。

国内の主な事故・災害

- 3月10日 新潟県新潟市の雑居ビル火災 死者11名
- 6月12日 宮城県沖地震 M7.4 死者28名 負傷者11,028名 家屋の全半壊7,430棟
- 6月15日 愛知県半田市のビジネスホテル白馬火災 死者7名 負傷者20名

昭和54年

1979年

- 3月20日 消防署厚真支署上厚真分遣所に指揮広報車（トヨタコナバン）を購入配置した。
- 3月26日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 4月 1日 消防署鶴川支署長宮崎信夫氏の退任に伴い、消防署鶴川支署警防係長片山正雄氏が鶴川支署長に就任した。
消防職員3名を採用（追分支署1名、鶴川支署2名）した。
- 4月10日 厚真町三友自動車商会及び苫小牧スバル自動車より連絡車（スバルオーネバン）の寄贈を受け消防署厚真支署に配置した。
- 4月12日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 4月29日 元厚真消防団部長大捕頭徳氏が叙勲授章された。
- 5月22日 組合議会第1回臨時会を開催した。
胆振東部消防組合議会議長に秋田谷正雄氏が再任された。
胆振東部消防組合監査委員宮本正一氏の退任に伴い、高辻健司氏が監査委員（議会選出）に選任された。
- 6月 8日 穂別消防団に優秀消防団として、北海道消防協会より表彰旗が授与された。
- 7月 6日 組合議会第2回臨時会を開催した。
消防本部総務課長安倍利夫氏及び総務係1名の任期満了により厚真町役場へ復帰し、後任に鈴木健吉氏が総務課長に就任、総務係1名が厚真町役場より派遣された。
- 7月16日 消防職員2名を採用（厚真支署1名、分遣所1名）した。
- 7月19日 消防署追分支署「無火災500日」達成した。
- 8月27日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 9月27日 消防署早来支署「無火災500日」達成した。
- 10月 8日 厚真消防団第一分団に消防ポンプ自動車（いすゞティーンCD-I）を更新配置した。
- 10月 9日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 10月18日 消防署追分支署が「無火災500日達成」により、胆振東部消防組合管理者よ

り竿頭綬を授与された。

- 11月18日 消防署早来支署に指揮広報車（コロナマークⅡバン）を更新配置した。
- 11月30日 消防本部に指揮広報車（トヨタクラウン）を更新配置した。
- 12月15日 早来町内で車両火災（タクシー運転手放火殺人推定）により焼死者1名を出す。
- 12月18日 消防署早来支署に、消防用サイレン無線遠隔吹鳴装置の配備及び安平分団・遠浅分団に固定局2局を開局した。
- 12月26日 組合議会第3回定例会を開催した。
- 12月27日 消防署追分支署に連絡車（日産トリックバン）を購入配置した。

国内の主な事故・災害

- 3月20日 群馬県水上町の上越新幹線大清水トンネル工事現場火災 死者16名 負傷者58名
- 5月15日 夕張市の三菱南大夕張炭鉱ガス突出爆発事故 死者15名 負傷者15名
- 7月11日 静岡県静岡市の東名高速道路日本坂トンネル火災 死者行方不明28名 負傷者52名
- 10月14日 全国を襲った台風16号による風水害 死者110名 負傷者543名 全半壊1,426棟

昭和55年

1980年

- 3月28日 消防署追分支署、追分消防団合同庁舎（鉄筋コンクリート造2階建636.758㎡）の新築落成式を挙行了した。
- 3月29日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 4月1日 消防本部次長吉田 研氏が消防長（消防署長兼務）に就任した。
- 4月7日 消防署鶴川支署、鶴川消防団合同庁舎（鉄筋コンクリート造2階建760.01㎡）の新築落成式並びに鶴川消防創設70周年記念式典を挙行了した。
- 4月11日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 4月29日 元早来消防団副団長山本勝美氏が叙勲授章された。
- 7月3日 胆振地方支部総合訓練大会が早来町ときわ公園で開催され、早来消防団が総合優勝をとげた。
消防長吉田 研氏が病氣療養中逝去された。
- 7月8日 谷内信雄氏が厚真町長に当選し、管理者に再任された。
- 7月9日 管理者谷内信雄氏が消防長事務取扱いに、副管理者亀井一夫氏が消防本部次長事務取扱いに発令された。
- 8月21日 組管内消防職・団員親善ソフトボール大会を追分町で開催した。
- 8月22日 北海道消防操法訓練大会が道消防学校で開催され、早来消防団が出場した。
- 8月28日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 9月1日 消防本部総務課長鈴木健吉氏が消防本部次長（総務課長兼務）に、消防本部警防課長菊池幸一氏が消防署長（警防課長兼務）に就任した。
穂別消防団団長に二ツ屋力一氏が再任された。
- 10月8日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 10月24日 早来消防団安平分団消防車々庫（73.13㎡）を改築整備した。

- 11月 5日 消防署鵠川支署に小型動力ポンプ付水槽車（10 t）を購入配置した。
- 11月25日 消防職員待機宿舎（鵠川支署～鉄筋ブロック造平屋建1棟2戸120.24㎡）が建設された。
- 11月27日 消防団百年記念全国大会が東京後樂園スタジアムで開催され、北海道代表として消防署穂別支署及び穂別消防団がまとい太鼓を披露した。
- 12月22日 組合議会第3回定例会を開催した。

国内の主な事故・災害

- 8月14日 静岡県で富士山落石事故 死者12名 負傷者21名
- 8月16日 静岡県静岡市の駅前ゴールデン街ガス爆発事故 死者15名 負傷者222名
- 11月20日 栃木県藤原町の川治プリンスホテル火災 死者45名 負傷者22名

昭和56年

1981年

- 1月23日 厚真消防団団長土屋由造氏の退任に伴い、副団長森 宏氏が厚真消防団団長に就任された。
- 2月21日 追分消防団団長仲野作次郎氏が逝去された。
- 2月26日 消防署厚真支署に通信指令装置一式を購入整備した。
- 3月 5日 早来消防団遠浅分団に消防ポンプ自動車（いすゞディーゼルCD-II型）を更新配置した。
- 3月28日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 4月 1日 収入役森本頼賢氏が再任された。
消防本部総務課総務係1名が厚真町に復帰し、消防本部総務課長補佐に武田勲氏と総務係1名が厚真町役場より派遣された。
消防本部次長鈴木健吉氏が消防長（総務課長兼務）に就任した。
消防署早来支署長山路光二氏（早来町教育長に就任）の退任に伴い、早来町役場より佐藤 茂氏が早来支署長に就任した。
消防職員3名を採用（早来支署2名、厚真支署1名）した。
早来消防団団長に三谷繁松氏が再任された。
追分消防団団長に副団長橋本正一氏が就任された。
- 4月 9日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 4月29日 元厚真消防団部長向 勇氏が叙勲授章された。
- 6月10日 穂別町民家火災により子供5人が焼死した。
- 7月 1日 組合管内消防団合同演習を鵠川町で開催した。
- 7月10日 消防署穂別支署、穂別消防団合同庁舎の新築（鉄筋コンクリート造730.0㎡）落成式並びに北海道消防協会表彰旗受賞記念式典を挙行了。
- 7月22日 北海道石油共同備蓄タンク14基設置許可申請され、9月30日付設置許可証を交付した。
- 8月 1日 消防職員1名を採用（厚真支署）した。
- 8月 3日 全道を襲った台風12号による大雨・集中豪雨により、管内の河川の氾濫、道路～6日・田畑の冠水など甚大な被害を被った。

- 8月10日 消防署追分支署に水槽付消防ポンプ自動車（日野、水Ⅱ型）を購入配置した。
消防署鶴川支署に救急自動車（トヨタハイース）を更新配置した。
- 8月26日 胆振東部消防組合設立10周年式典及び組合管内消防職・団員親善ソフトボール大会を鶴川町で開催した。
- 9月17日 組合管内消防職員競技大会を開催し、消防署厚真支署が優勝した。
- 9月25日 穂別消防団第二分団詰所（139.66㎡）を改築整備した。
- 10月1日 消防職員2名を採用（穂別支署）した。
- 10月2日 消防署穂別支署に全国共通波（150.73MHz）を開局した。
- 10月8日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 10月30日 早来消防団安平分団に消防ポンプ自動車（いすゞディーゼルCD-Ⅱ型）を更新配置した。
消防署厚真支署にホース乾燥塔（高さ12.5m）を建設した。
- 11月3日 元厚真消防団部長曾我勇次氏が叙勲授章された。
- 11月18日 消防職員待機宿舎（追分支署～ブロック造平屋建1棟2戸144.53㎡）を建設した。
- 11月24日 消防署穂別支署に日本損害保険協会より救急自動車（トヨタハイース）の寄贈を受け更新した。
- 11月30日 穂別消防団第三分団詰所（103.62㎡）を改築整備した。
- 12月4日 苫小牧東部石油備蓄タンク12基設置許可申請される。
- 12月18日 消防署早来支署に積載車（トヨタントクルザー、スノーブラ付）を購入配置した。
- 12月19日 組合議会第3回定例会を開催した。
- 12月21日 消防署鶴川支署に消防緊急指令装置を購入配備した。
消防署穂別支署に小型動力ポンプ付水槽車（いすゞⅡ型）を購入配置した。

国内の主な事故・災害

- 10月16日 夕張市の北炭夕張炭鉱ガス突出事故 死者93名
- 12月中旬 北海道・北陸を中心とした56年豪雪 死者133名 行方不明19名 負傷者2,158名

昭和57年

1982年

- 3月29日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 4月1日 消防職員4名（早来支署1名、追分支署1名、鶴川支署1名、穂別支署1名）を採用し、70名体制とした。
- 4月4日 鶴川消防団団長鈴木辰雄氏の退任に伴い、副団長川合清治氏が鶴川消防団団長に就任された。
- 4月8日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 4月29日 元厚真消防団部長木村益一氏が叙勲授章された。
- 5月13日 消防職員2名を採用（鶴川支署）した。
- 6月1日 消防署厚真支署上厚真分遣所庁舎建設用地（4,973㎡）を購入した。
- 7月1日 胆振地方支部総合訓練大会が白老町で開催され、厚真消防団が第3種小型ポンプ操法の部で優勝した。
- 7月2日 組合議会第1回臨時会を開催した。

- 7月22日 組合管内消防職・団員親善ソフトボール大会を穂別町で開催した。
- 8月 4日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 8月20日 北海道消防操法訓練大会が道消防学校で開催され、厚真消防団が出場した。
- 9月24日 組合管内職員訓練競技大会を開催し、消防署早来支署が優勝した。
- 10月 1日 消防職員2名を採用（厚真支署）し、74名体制とした。
- 10月 7日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 11年 3日 元厚真消防団団長土屋由造氏、同副団長奥村芳太郎氏が叙勲授章された。
- 11月17日 鶴川消防団第一分団に消防ポンプ自動車（いすゞイゼル、CD-II型）を更新配置した。
- 12月14日 消防署厚真支署上厚真分遣所庁舎（鉄筋コンクリート造平屋建1061.745㎡）を建設した。
- 12月18日 組合議会第3回定例会を開催した。
監査委員岡部卯三郎氏が再任された。
- 12月20日 早来消防団安平分団に積載車（トヨタエース）を更新配置した。

国内の主な事故・災害

- 2月 8日 東京都千代田区のホテルニュージャパン火災 死者33名 負傷者34名
- 2月 9日 東京都羽田沖に日航DC-8型機 機長の故意降下激突 死者24名 負傷者147名
- 2月21日 浦河沖地震 M7.3 負傷者167名 全半壊41棟

昭和58年

1983年

- 2月 9日 消防署厚真支署上厚真分遣所に泡原液搬送車（いすゞKGDR420Tカ）を配置した。
- 2月16日 消防署厚真支署上厚真分遣所に大型化学消防ポンプ自動車（いすゞKSMR461）を配置した。
- 2月18日 消防署厚真支署上厚真分遣所に大型高所放水車（ヒ/KFN274AA）を配置した。
- 2月22日 消防署厚真支署に救急自動車（トヨタエース2B型）を更新配置した。
- 3月 4日 消防署厚真支署上厚真分遣所に消防用超短波無線電話機基地・固定局を開局した。
- 3月25日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 4月 1日 消防職員3名を採用（厚真支署2名、追分支署1名）し、77名体制とした。
- 4月 7日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 4月15日 消防署厚真支署上厚真分遣所・厚真消防団第二分団合同庁舎の新築落成式並びに日本消防協会表彰旗受賞記念式典を挙行了した。
- 4月29日 元早来消防団副分団長細川朝男氏が叙勲授章された。
- 5月 6日 鶴川町の小金澤組より指揮広報車（いすゞファーゴ）の寄贈を受け消防署鶴川支署に配置した。
- 5月 7日 鶴川消防団団長川合清治氏の退任に伴い、第二分団長丸岡敏男氏が鶴川消防団長に就任した。
- 5月14日 組合議会第1回臨時会を開催した。
議会議長に渡辺俊明氏、副議長に渡辺 勇氏が選任された。

- 監査委員に松田明雄氏が選任された。
- 5月16日 消防本部総務課長補佐武田 勲氏及び総務係1名の派遣期間満了により厚真町役場に復帰し、後任総務係1名が厚真町より派遣された。
- 5月26日 消防署鶴川支署に指揮広報車（日産ワゴン）を更新配置した。
- 6月21日 穂別少年消防クラブが北海道消防協会より優良表彰を受けた。
- 7月28日 組管内消防団合同演習を穂別町で開催した。
- 8月24日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 8月29日 組管内消防職・団員親善野球大会を厚真町で開催した。
- 10月 1日 消防署追分支署長神戸外吉氏の退職に伴い、下斗米隆久氏（追分町）が追分支署長に就任した。
- 消防職員2名を採用（厚真支署）し、78名体制とした。
- 10月 6日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 組管内職員競技大会を開催し、消防署穂別支署が優勝した。
- 11月10日 早来消防団安平分団消防会館（72.78㎡）を改築した。
- 12月20日 早来消防団遠浅分団に積載車（トヨタエース）を更新配置した。
- 消防署厚真支署上厚真分遣所に泡原液貯蔵タンク1基を建設し消化薬剤30k1を備蓄した。
- 12月26日 組合議会第3回定例会を開催した。

国内の主な事故・災害

- 2月21日 山形県山形市の蔵王観光ホテル火災 死者11名 負傷者2名
- 5月26日 日本海中部地震 M7.7 死者107名 負傷者324名 家屋の全半壊5,099棟
- 10月 3日 東京都三宅島噴火 溶岩流による阿古地区埋没 全壊340棟

昭和59年

1984年

- 1月23日 日産自動車株式会社より救急自動車（日産キャラバン）の寄贈を受け、消防署追分支署に更新配置した。
- 3月27日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 4月 1日 副管理者亀井一雄氏（厚真町助役）の退任に伴い、藤原正幸氏（厚真町助役）が副管理者に就任された。
- 消防職員1名を採用（追分支署）し、79名体制とした。
- 4月 5日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 7月 8日 谷内信雄氏が厚真町長に当選し、管理者に再任された。
- 7月 9日 胆振地方支部総合訓練大会が追分町で開催され、追分消防団が総合優勝した。
- 7月29日 組管内消防職団員親善野球大会を早来町で開催し、鶴川チームが優勝した。
- 8月29日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 議会副議長渡辺 勇氏の退任に伴い、沢口光夫氏が副議長に選任された。
- 9月 1日 早来消防団の定数を5名削減し、95名とした。
- 穂別消防団団長に二ツ屋力一氏が再任された。
- 10月 1日 消防署早来支署長佐藤 茂氏の（早来町総務課長に就任）退任に伴い、早来町

役場より浜谷正毅氏が早来支署長に就任した。

- 10月 9日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 10月11日 組合管内職員競技大会を開催し、消防署厚真支署が優勝した。
- 10月19日 消防署追分支署に小型動力ポンプ付水槽車（日産、10 t）を購入配置した。
- 11月 7日 消防署厚真支署に消防用ホース84本を購入配置した。
- 11月21日 鶴川消防団第二分団に無線遠隔制御装置付消防用サイレンを更新した。
- 11月27日 早来消防団安平分団に消防用サイレン塔兼ホース乾燥塔を建設した。
- 12月10日 鶴川消防団第三分団詰所（補強コンクリートブロック造平屋建54.16㎡）新築落成式を挙
行した。
- 12月22日 組合議会第3回定例会を開催した。

国内の主な事故・災害

- 9月 3日 東京都千代田区の国立近代美術館フィルムセンター火災 全焼 洋画330本焼失
- 9月14日 長野県西部地震 M6.7 死者27名 負傷者10名 全半壊87棟
- 11月16日 東京都の地下通信ケーブル洞火災 加入電話89,000回線、テレビ4,000回線不通

昭和60年

1985年

- 1月23日 厚真消防団団長に森 宏氏が再任される。
- 2月28日 消防職員1名（穂別支署）が退職し、78名体制となる。
- 3月15日 早来町内の住宅火災で焼死者1名を出す。
- 3月28日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 4月 1日 消防職員3名を採用（厚真支署2名、穂別支署1名）し、81名体制とした。
早来消防団団長三谷繁松氏の退任に伴い、副団長鈴木賢治氏が早来消防団団長
に就任された。
追分消防団団長に橋本正一氏が再任される。
追分消防団の定数を6名削減し、51名とした。
- 4月 8日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 4月11日 胆振東部消防組合及び早来消防団の消防庁長官表彰式を挙行政した。
- 7月26日 北海道消防操法訓練大会が道消防学校で開催され、追分消防団が出場した。
- 8月 8日 厚真町宮の森幼年消防クラブ結成（クラブ員52名）した。
- 8月 9日 組合管内消防職・団員親善野球大会を追分町で開催し、鶴川消防チームが優勝
した。
- 8月26日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 9月26日 組合管内消防団合同演習を追分町で開催した。
- 9月27日 議会議員山岡正治氏（厚真町議会選出）が病氣療養中逝去され、後任に菅原治
一氏が選出された。
- 10月 8日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 10月11日 組合管内職員競技大会で鶴川支署が優勝した。
- 10月19日 消防署早来支署に水槽付消防ポンプ自動車（ヒノ7t水Ⅱ型）を更新配置した。
- 11月 2日 早来町市街地の木工場火災により厚真から応援を受ける。

- 11月22日 鵜川消防団第一分団車庫（鉄骨造平屋建36.63㎡）を建設した。
- 11月29日 消防署穂別支署に指揮広報車（トヨタクラウン）を購入配置した。
- 12月 8日 消防署穂別支署の消防職員1名（19歳）が急性心不全にて逝去された。
職員数80名となる。
- 12月 9日 消防署厚真支署車庫及び厚真消防団第一分団詰所（鉄骨コンクリート造平屋建237.70㎡）を増改築した。
- 12月18日 消防署厚真支署に小型動力ポンプ付水槽車（ヒノFS600）を購入配置した。
- 12月28日 組合議会第3回定例会を開催した。

国内の主な事故・災害

- 5月 6日 東京都柿の木坂タンクローリー横転炎上事故 ガソリン・軽油20,000流失炎上
- 5月17日 夕張市の三菱石炭鉱業大夕張炭鉱ガス爆発事故 死者62名 負傷者41名
- 8月12日 群馬県上野村御巢鷹山に日本航空ジャンボ機墜落 死者520名 負傷者4名
- 12月下旬 全国に雪害 死者90名 負傷者678名 全半壊27棟

昭和61年

1986年

- 2月10日 鵜川消防団が日本消防協会より表彰旗が授与された。
- 3月27日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 4月 1日 消防本部消防長鈴木健吉氏の退任（厚真町総務課長へ）に伴い管理者谷内信雄氏が消防長事務取扱となる。
消防署長菊池幸一氏が消防本部次長に就任した。
消防本部総務課長に武田 勲氏（厚真町から派遣）が就任した。
消防署厚真支署上厚真分遣所長青木秀夫氏が消防署穂別支署長に就任した。
消防本部の総務係1名が厚真町からの派遣を解かれた。
消防職員1名を採用（穂別支署）し、80名体制とした。
穂別消防団団長二ツ屋力一氏の退任に伴い、副団長秋田谷正雄氏が穂別消防団団長に就任された。
- 4月 7日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 4月29日 元穂別消防団副分団長西 秀隆氏が叙勲授章された。
- 6月 1日 厚真消防団団長 森 宏 氏の退任に伴い、副団長嶋田寅一氏が厚真消防団団長に就任された。
- 7月 9日 胆振地方支部消防総合訓練大会が苫小牧市で開催され、早来消防団が総合優勝した。
- 8月10日 組合管内消防職・団員親善野球大会を鵜川町で開催し、厚真消防チームが優勝した。
- 8月22日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 9月 3日 日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車（いすゞB-FKR12FAV）の寄贈を受け消防署鵜川支署に配置し、寄贈車両の受納式並びに日本消防協会表彰旗受賞記念式典を挙行了した。
- 10月 6日 組合署・団合同幹部会議を開催した。

- 10月 9日 組合管内職員競技大会を開催し、消防署厚真支署が優勝した。
- 10月15日 議会議員横山良夫氏（穂別町長）が病氣療養中逝去された。
- 10月22日 全道火災予防作文コンクールにおいて、厚真町富野小学校荒井真理子さん、山田加一郎くんが北海道知事賞を受賞し、消防本部にて胆振支庁地方部長より表彰伝達される。
- 11月30日 穂別町長に原 芳弘氏が当選し、組合議会議員となる。
- 12月19日 消防署早来支署に小型動力ポンプ付水槽車（ヒノFW27）を購入配置した。
- 12月20日 消防署厚真支署上厚真分遣所に小型動力ポンプ付水槽車（ヒノFS600）を購入配置した。
- 12月22日 消防署追分支署に無線指令卓を設置し、全国共通波の基地局を開局した。
- 12月27日 組合議会第3回定例会を開催した。
監査委員岡部卯三郎氏の任期満了に伴い、亀井一雄氏が監査委員に選任された。

国内の主な事故・災害

- 2月11日 静岡県伊豆熱川温泉のホテル大東館火災 死者24名
- 7月31日 兵庫県神戸市の精神薄弱者授産施設陽気寮火災 死者 8名
- 11月15日 東京都大島町の三原山噴火
- 11月18日 兵庫県香住町の余部鉄橋列車転落事故 死者 6名 負傷者 6名（最大風速45m）

昭和62年

1987年

- 1月22日 消防署厚真支署に油圧式救助器具1式を購入配備した。
- 2月20日 消防署厚真支署に水槽付消防ポンプ自動車1台（ヒノFH272）を更新配置した。
- 3月10日 鶴川消防団団長丸岡敏男氏の退任に伴い、第一分団長佐藤延宏氏が鶴川消防団団長に就任された。
- 3月27日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 4月 1日 消防職員1名を採用（鶴川支署）し、81名体制とした。
各支署に、新たに救急救助係を置いた。
- 4月 7日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 4月15日 消防本部次長菊池幸一氏が消防長に就任した。
- 4月29日 元早来消防団副分団長荒木常兵衛氏が叙勲授章された。
- 5月15日 組合議会第1回臨時会を開催した。
議会議長に渡辺俊明氏、副議長に斉藤 功氏が選任された。
監査委員に平岡英夫氏が選任された。
- 5月30日 穂別町内で車両火災により焼死者2名を出す。
- 6月24日 消防署早来支署2階会議室を改修し事務室を2階に移転した。
- 7月 1日 国民安全の日に際し、厚真町管内幌内自警団が消防庁長官から功績表彰を授与された。
- 7月 7日 胆振地方支部消防総合訓練大会が穂別町で開催され、穂別消防団が完全優勝をとげた。
- 8月 1日 早来消防団の定数を5名削減し、90名とした。

- 8月 9日 組合管内消防職・団員親善野球大会を穂別町で開催し、鶴川消防チームが優勝した。
- 8月25日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 9月20日 早来町遠浅で雪印食品北海道早来工場火災（焼損面積1,413㎡、損害額220,461千円）が発生した。
- 10月 1日 穂別消防団団長秋田谷正雄氏の退任に伴い、副団長原田幸一氏が穂別消防団団長に就任された。
- 10月 5日 消防署穂別支署に、林野火災工作車（メルセデスベンツ22型）を更新配置した。
- 10月 6日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 10月30日 全道火災予防作文コンクールにおいて、鶴川町宮戸小学校高橋順子さん、春日小学校熊谷洋一くんが、それぞれ佳作に入選し賞状が授与された。
- 11月11日 石油備蓄基地（第2工区A地区）原油タンク14基が完成した。
- 11月12日 消防署追分支署に消防用ホース80本、空気呼吸器2台を購入配備した。
消防署鶴川支署に消防用ホース60本、空気呼吸器2台を購入配備した。
- 11月30日 消防署厚真支署に指揮広報車（トヨタクラウン）を更新配置した。
消防署厚真支署上厚真分遣所に指揮広報車（トヨタランドクルーザー）を更新配置した。
消防署厚真支署上厚真分遣所に無線指令卓を設置し、全国共通波基地局を開局した。
- 12月 1日 消防署早来支署に消防車庫兼管理室（木造2階建165.62㎡）を建設した。
- 12月15日 組合議会第3回定例会を開催した。
- 12月25日 厚真消防団第一分団に小型動力ポンプ積載車（三菱キャンター）、厚真消防団第二分団に消防ポンプ自動車（ヒノFD171、CD-II型）をそれぞれ更新配置した。

国内の主な事故・災害

- 6月 6日 東京都品川区の特別養護老人ホーム松寿園火災 死者17名 負傷者25名
- 12月17日 千葉県東方沖地震 M6.7 死者2名 負傷者161名 全半壊177棟

昭和63年

1988年

- 1月28日 鶴川町で放火自殺により1名焼死。
- 3月23日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 3月31日 副管理者藤原正幸氏（厚真町助役）が退任された。
- 4月 1日 消防署長木谷忠義氏が消防本部次長に就任した。
消防職員2名を採用（早来支署）し、83名体制とした。
- 4月12日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 4月15日 収入役滝ヶ平輝義氏が退任（厚真町助役に就任）された。
収入役職務代理者に消防本部次長木谷忠義氏が任命された。
- 7月 8日 谷内信雄氏が厚真町長に当選し、管理者に再任された。
- 7月29日 北海道消防操法訓練大会が道消防学校で開催され、穂別消防団が出場した。
- 8月12日 組合議会第2回定例会を開催した。
副管理者に滝ヶ平輝義氏（厚真町助役）が選任された。

消防本部総務課長武田 勲氏が厚真町役場に復帰し、後任の総務課長に厚真町役場より畑嶋征二氏が派遣就任した。

- 8月28日 組合管内消防職・団員親善野球大会を厚真町で開催し、早来消防チームが優勝した。
- 9月13日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 9月29日 石油備蓄基地（第2工区B地区）原油タンク2基が完成し、厚真町分原油タンクは28基となる。
- 10月 5日 消防署厚真支署上厚真分遣所に消防用ホース80本を購入配備した。
- 11月 3日 元早来消防団団長三谷繁松氏が叙勲授章された。
- 11月18日 消防署鷗川支署に油圧式救助器具1式を購入配備した。
- 11月24日 消防署厚真支署上厚真分遣所に泡消化薬剤貯蔵タンク1基を建設した。
- 11月30日 消防署厚真支署上厚真分遣所に泡消化薬剤30K1を購入貯蔵した。
厚真町上厚真地区にサイレン塔を建設し、動力サイレンを設置した。
- 12月21日 早来消防団早来分団に消防ポンプ自動車（ヒノFD171、CD-II型）を更新配置した。
- 12月25日 消防署追分支署車庫を増築（鉄筋コンクリート99.743㎡）整備した。
- 12月26日 組合議会第3回定例会を開催した。
収入役に吉岡 勇氏（厚真町収入役）が選任された。
穂別消防団第二分団に小型動力ポンプ付積載車（トヨタヨース）を購入配置した。

国内の主な事故・災害

- 1月 5日 東京都港区のディスコ・トゥリア大型照明装置落下事故 死者 3名 負傷者 14名
- 7月23日 海上自衛隊潜水艦「なだしお」・大型遊漁船「第一富士丸」衝突事故 死者30名
- 8月19日 旭川市の(株)ほくさん旭川工場火災 死者 2名 負傷者 7名 中毒症 1名

昭和64年・平成元年

1989年

- 3月24日 追分消防団に消防ポンプ自動車（三菱、CD-I型）を購入配置した。
- 3月27日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 3月31日 消防職員2名が退職する。（消防本部、穂別支署）
- 4月 1日 消防本部消防長菊池幸一氏の退職に伴い、消防本部次長木谷忠義氏が消防長に就任し、消防署厚真支署長三上由夫氏が消防署長に、消防署穂別支署長青木秀夫氏が消防署厚真支署長に、消防署穂別支署長に藤江保徳氏（穂別町役場退職）がそれぞれ就任した。
早来消防団団長に鈴木賢治氏が再任される。
追分消防団団長橋本正一氏の退任に伴い、副団長村山 國氏が消防団長に就任された。
- 4月 2日 議会議員石留 博氏（追分町議会選出）が病氣療養中逝去された。
- 4月17日 組合署・団合同幹部会議を厚真町で開催した。
- 7月10日 第1回組合管内消防団員教育訓練を白老町で開催した。

- 7月30日 組合管内消防職・団員親善野球大会を早来町で開催し、厚真消防チームが優勝した。
- 8月29日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 9月12日 消防団員現地教育訓練及び消防団活性化対策事業が白老町で開催した。
- 9月19日 組合署・団合同幹部会議を登別市で開催した。
- 9月25日 穂別消防団に防火衣30着を購入配備した。
- 9月27日 早来消防団遠浅分団に無線遠隔サイレン吹鳴装置、動力サイレンを設置した。
- 10月20日 組合管内消防団合同演習を厚真町で開催した。
- 10月25日 消防署早来支署に消防防災資器材庫（木造2階建129.60㎡）を建設した。
消防署厚真支署に消防用ホース50本を更新配備した。
- 10月26日 追分消防団に消防ポンプ自動車（いすゞ、CD-II型）を更新配置した。
- 10月31日 消防署追分支署長下斗米隆久氏の退職に伴い、副支署長目黒 勇氏が追分支署長に就任した。
- 11月29日～30日 甲種防火管理者資格取得講習会を厚真町で開催した。
- 11月30日 消防署厚真支署上厚真分遣所庁舎前庭（1,840㎡）を舗装整備した。
- 12月 6日 消防署厚真支署及び厚真消防団に防火衣102着を購入配備した。
- 12月13日 危険物安全協会設立準備委員会を厚真町で開催した。
- 12月21日 消防本部に指令車（トヨタクラウン）を更新配置した。
- 12月22日 消防署早来支署に救急自動車（日産ホーミー4WD、2B）を更新配置した。
- 12月25日 穂別消防団に小型動力ポンプ付積載車（トヨタヨース）を購入配置した。
- 12月27日 組合議会第3回定例会を開催した。

国内の主な事故・災害

- 6月30日 伊東東方沖群発地震 M5.5 負傷者22名（8月22日まで続く）
- 8月 1日 神奈川県川崎市で台風12号による集中豪雨で崖崩れ災害 捜索救助作業中
再度土砂崩れにより二次災害となる 死者6名（うち消防職員3名）負傷者12名
- 8月24日 東京都江東区の超高層マンション・スカイシティ火災 負傷者6名（28階建）

平成2年

1990年

- 3月19日 消防署鶴川支署に水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ水II型）を購入配置した。
- 3月27日 胆振東部危険物安全協会設立総会を開催した。
- 3月28日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 4月 1日 消防署長三上由夫氏の退職に伴い、消防長木谷忠義氏が消防署長・警防課長兼務となる。
消防署鶴川支署長片山正雄氏の退職に伴い、副支署長畑 康雄氏が鶴川支署長に就任した。
消防職員4名を採用（追分支署、厚真支署、鶴川支署、穂別支署各1名）し、83名体制とした。
各支署の予防体制の強化を図るため、予防係を予防指導係と予防広報係の2係体制とした。

- 4月16日 組合署・団合同幹部会議を厚真町で開催した。
- 5月 8日 追分町ライオンズクラブより指揮広報車の寄贈を受け、消防署追分支署に配置した。
- 6月 1日 厚真消防団団長嶋田寅一氏の退任に伴い、副団長本瀬吉英氏が厚真消防団団長に就任された。
- 7月 1日 消防本部総務課長畑嶋征二氏が厚真町役場へ復帰し、後任の総務課長に厚真町役場から前田正行氏が派遣就任した。
- 7月22日 組合管内消防職・団員親善野球大会を追分町で開催し、厚真消防チームが優勝した。
- 8月 2日 全道消防救助技術訓練指導会ほふく救助の部に鶴川支署チーム2隊が出場し、準優勝と5位入賞した。
- 8月23日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 9月12日 消防団員現地教育訓練及び消防団活性化対策事業を厚真町で開催した。
- 9月25日 組合署・団合同幹部会議を室蘭市で開催した。
- 10月 1日 穂別消防団長に原田幸一氏が再任された。
- 10月23日～24日 危険物取扱者試験事前講習会を厚真町で開催した。
- 11月 3日 元穂別消防団団長二ツ屋力一氏が叙勲授章された。
- 11月28日～29日 甲種防火管理者資格取得講習会を厚真町で開催した。
- 11月30日 消防署厚真支署上厚真分遣所に油圧式救助器具1式を購入配備した。
- 12月10日 消防署早来支署に指揮広報車（トヨタクラウン）を更新、資材搬送車（トヨタパイク）を購入配置した。
- 12月13日 消防署厚真支署に防災用軽自動車（スズキジムニー）を購入配置した。
- 12月17日 早来消防団遠浅分団詰所（木造平屋建107.79㎡）を建設した。
- 12月20日 穂別消防団第四分団に小型動力ポンプ付積載車（トヨタユース）を購入配置した。
- 12月21日 消防署厚真支署に救急自動車（トヨタ4WD、2B型）を更新配置した。
- 12月25日 組合議会第3回定例会を開催した。

国内の主な事故・災害

- 3月18日 兵庫県尼崎市のスーパー長崎屋尼崎店火災 死者15名 負傷者 6名
- 6月29日 愛知県豊橋市の煙火製造工場火災 死者 5名 負傷者 5名
- 11月 2日 千葉県茂原市で竜巻災害 死者 1名 負傷者78名 全半壊262棟

平成3年

1991年

- 1月11日 消防署鶴川支署に救急自動車（日産2B型）を更新配置した。
- 2月13日 北海道広域消防相互応援協定を締結し、4月1日施行となる。
- 3月10日 鶴川消防団団長に佐藤延宏氏が再任された。
- 3月25日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 4月 1日 消防職員2名を採用（鶴川支署）し、85名体制とした。
- 4月 8日 組合署・団合同幹部会議を厚真町で開催した。
- 5月 1日 鶴川町長平野信雄氏の退任に伴い、大内良一氏が鶴川町長に当選し、消防組合

議会議員となる。

統一地方選挙に伴い、平野宗二氏（早来町議会選出）、森田定一氏、伊藤広志氏（厚真町議会選出）、奥村信幸氏（鶴川町議会選出）、星 兀氏（穂別町議会選出）が消防組合議員に就任された。

- 5月20日 組合議会第1回臨時会を開催した。
議会議長に森田定一氏、副議長に星 兀氏が選任された。
監査委員に真鍋高一氏が選任された。
- 5月29日 厚真町にて住宅火災により焼死者1名が出た。
- 6月27日 組合管内消防団員教育訓練を厚真町で開催した。
- 7月 1日 胆振東部消防組合設立20周年記念式典を厚真町総合福祉センターで挙行了。
消防署早来支署長浜谷正毅氏の退職に伴い、副支署長加賀勝男氏が早来支署長に就任した。
消防職員1名を採用（早来支署）した。
- 7月19日 胆振支庁管内水防工法訓練が白老町で開催され組合管内各消防団が参加した。
- 7月21日 組合管内消防職・団員親善野球大会を鶴川町で開催し、早来消防チームが優勝した。
- 8月27日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 9月 1日 組合管内消防団合同演習を鶴川町で開催した。
- 9月 2日 北海道石油コンビナート防災総合訓練が共同備蓄で実施され、消防署厚真支署上厚真分遣所が参加した。
- 9月11日 消防団員現地教育訓練及び消防団員活性化対策研究会が苫小牧で開催された。
- 9月12日 国道274号線（通称「樹海ロード」）モトツトンネルの防災訓練が実施され、消防署穂別支署が参加した。
- 9月17日 組合署・団合同幹部会議を苫小牧市で開催した。
- 9月19日 国道274号線開通に伴い、建設協会よりスキルメーターレサシアン一式、携帯用無線機6台の寄贈を受け、消防署穂別支署に配備した。
- 10月 1日 消防職員1名を採用（追分支署）し、85名体制とした。
穂別消防団団長に原田幸一氏が再任される。
- 10月25日 消防署穂別支署に油圧式救助器具一式を購入配備した。
- 11月 3日 元穂別消防団団長秋田谷正雄氏が叙勲受賞された。
- 11月28日 消防署早来支署に気象観測装置を購入配備した。
- 11月28日～29日 甲種防火管理者資格取得講習会を厚真町で開催した。
- 12月 3日 早来消防団遠浅分団サイレン塔兼ホース乾燥塔を更新建設した。
- 12月16日 消防署穂別支署に救急自動車（トヨタ4WD、2B型）を更新配置した。
- 12月24日 消防署鶴川支署車庫（85.432㎡）を増築した。
- 12月25日 組合議会第3回定例会を開催した。

国内の主な事故・災害

- 5月14日 滋賀県水口町の信楽高原鉄道列車正面衝突脱線転覆事故 死者42名 負傷者428名
- 5月15日 東京都足立区の東京シューズ流通センター倉庫火災 負傷者16名（靴140万足）

11月17日 長崎県普賢岳噴火災害 火砕流発生 死者10名 行方不明 3名 負傷者 11名

平成4年

1992年

- 2月10日 消防署厚真支署上厚真分遣所に水槽付消防ポンプ自動車（ヒノU-FK2KLAA改、水Ⅱ型）を購入配置した。
- 3月5日 消防署厚真支署に消防緊急情報システム一式を購入配備した。
- 3月23日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 4月1日 消防職員9名を採用（早来支署1名、追分支署3名、鶴川支署2名、穂別支署3名）し、94名体制とした。
消防署穂別支署長藤江保徳氏の退任に伴い、副支署長宇野和輝氏が穂別支署長に就任した。
- 4月5日 早来保育園幼年消防クラブ結成（クラブ員90名）した。
- 4月9日 組合署・団合同幹部会議を開催した。
- 4月10日 消防署厚真支署職員待機宿舎専用道路用地（462.02㎡）を購入した。
- 4月15日 胆振東部危険物安全協会定期総会を厚真町で開催した。
- 4月25日 追分町長丹野長壽氏の退任に伴い、山口敏雄氏が追分町長に当選し、消防組合議会議員に就任された。
- 4月28日 消防署鶴川支署に救急処置訓練人形を購入配備した。
- 5月28日 早来消防団に消防団旗・分団旗を購入した。
- 7月3日 北海道消防協会胆振地方支部消防総合訓練大会が厚真町で開催された。
- 7月8日 胆振東部消防組合管理者谷内信雄氏（厚真町長）の退任に伴い、藤原正幸氏（厚真町長）が管理者に互選された。
- 7月16日 組合議会第1回臨時会を開催した。
- 8月9日 台風10号から変わった温帯低気圧の影響により、胆振東部地区が大雨となり厚真町、鶴川町、穂別町が多くの被害を被った。
- 8月13日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 9月2日 消防団現地教育訓練及び消防団活性化対策研究会が白老町で開催された。
- 9月10日 組合議会第2回臨時会を開催した。
副管理者滝ヶ平輝義氏（厚真町助役）の退任に伴い、安倍利夫氏（厚真町助役）が副管理者に選任された。
監査委員に眞鍋高一氏が再任された。
- 9月18日 組合署・団合同幹部会議を白老町で開催した。
- 10月2日 8月9日～10日の大雨による災害により農業被害に対し、厚真町・鶴川町・穂別町が政令第331号激甚災害指定を受けた。
- 10月8日 組合団長会会議を厚真町で開催した。
- 11月3日 元厚真消防団副団長本多賢三氏が叙勲授章された。
- 11月24日 平成4年度水防功労者表彰（団体）を厚真消防団・鶴川消防団・穂別消防団に建設大臣より授与された。
消防署早来支署に救助器具一式を購入配置した。
- 11月30日 消防署鶴川支署に消防緊急通信指令施設を更新配備した。

- 12月 3日 防火管理者上級講習会を厚真町で開催した。
- 12月 7日 穂別町老人緊急通報システムを消防署穂別支署に設置され、業務を開始した。
- 12月 8日 消防署早来支署に小型積載車（トヨタランドクルザー、スノーラウ付）を更新配置した。
- 12月10日 消防署穂別支署に水槽付消防ポンプ自動車（ヒノU-KH2KHAA改水Ⅱ型）を更新配置した。
- 12月18日 消防署厚真支署庁舎を増築（96.39㎡）した。
- 12月21日 穂別町幼年消防クラブ及び穂別町婦人防火クラブを結成する。
- 12月24日 組合議会第3回定例会を開催した。
組合収入役に吉岡 勇氏が再任された。

国内の主な事故・災害

- 3月17日 恵庭市の道央自動車道多重車両事故 死者 2名 負傷者77名 車両186台
- 6月16日 茨城県守屋町の花火工場爆発火災 死者 3名 行方不明 1名 負傷者58名
焼損24棟 爆風被害周囲300m 966棟に及んだ。

平成5年

1993年

- 3月22日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 4月 1日 消防本部総務課長前田正行氏が厚真町役場に復帰した。
消防本部消防長木谷忠義氏の退職に伴い、厚真町役場総務民生部次長武田 勲氏が消防長に就任し、消防本部次長（兼総務課長）に消防署鶴川支署長畑 康雄氏が、消防署長（兼警防課長）に消防署追分支署長目黒 勇氏が、消防署追分支署長に消防本部警防課長補佐宮本弘光氏が、消防署鶴川支署長に消防署厚真支署副支署長尾谷常夫氏がそれぞれ任命された。
消防職員6名を採用（消防本部1名、早来支署1名、追分支署1名、厚真支署2名、鶴川支署1名）し、97名体制とした。
代表監査委員亀井一雄氏の退任に伴い、厚真町の飛谷富夫氏が代表監査委員に選任された。
早来消防団長鈴木賢治氏の退任に伴い、岩淵善助氏が消防団長に就任された。
追分消防団長に村山 國氏が再任される。
- 7月 6日 組合管内消防団現地教育訓練を厚真町で開催した。
- 7月19日 北海道南西沖地震に伴う北海道広域消防相互応援協定発動による出動要請を受け、目黒消防署長以下3名の救助活動応援隊を奥尻島へ派遣した。
- 8月17日 鶴川町小金澤組より指揮広報車（日産ホミー）の寄贈を受け消防署鶴川支署に配置した。
- 8月31日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 9月 1日 平成5年防災功労者（団体）として、穂別消防団が内閣総理大臣表彰を授与された。
- 9月 3日 消防団現地教育訓練及び消防団活性化対策研究会を追分町で開催した。
- 9月12日 組合管内消防職・団員親善野球大会を穂別町で開催し、厚真消防チームが優勝した。

- 9月30日 消防職員1名が退職（厚真支署）し、97名体制となる。
- 10月 1日 穂別消防団に女性消防団員の導入を決定し、4名が入団した。
- 10月17日 組合管内消防団合同演習を穂別町で開催した。
- 10月25日 消防署厚真支署に消防用ホース65本を購入配備した。
- 11月 3日 元消防署追分支署長神戸外吉氏が叙勲授章された。
- 11月29日 消防署早来支署に油圧式救助資機材一式を購入配置した。
- 11月30日 鶴川消防団に小型動力ポンプ付積載車（いすゞエルフ）を購入配置した。
鶴川市街地区に消防団緊急伝達システム（サイレン塔）を更新建設した。
防火管理者上級講習会を厚真町で開催した。
- 12月24日 組合議会第3回定例議会を開催した。

国内の主な事故・災害

- 1月15日 釧路沖地震 M7.8 死者2名 負傷者967名 全壊53棟
- 7月12日 北海道南西沖地震・津波災害 M7.8 死者202名 行方不明28名 負傷者323名
全半壊1,032棟 津波高さ最大10m(青苗地区)
- 7/31～9/3 台風による風水害・土砂災害 台風5号・6号・7号・11号及び13号の襲来により全国に大きな被害。死者行方不明者261名 負傷者637名 全半壊3,191棟

平成6年

1994年

- 2月15日 穂別消防団が優秀消防団として日本消防協会より表彰旗を授与された。
- 3月10日 消防署追分支署に救助器具一式を購入配備した。
- 3月23日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 4月 1日 消防職員4名を採用（早来支署、厚真支署、鶴川支署、穂別支署各1名）し、100名体制とした。
東部消防連絡協議会事務局を白老町消防本部から引き継ぎ、消防本部総務課内に置いた。
- 4月29日 元鶴川消防団団長鈴木辰雄氏が叙勲授章された。
- 5月14日 早来町の建物火災で焼死者1名を出す。
- 6月 1日 厚真消防団団長に本瀬吉英氏が再任された。
- 6月20日 穂別町の建物火災で焼死者1名を出す。
- 6月29日 北海道消防協会胆振地方消防操法訓練大会が室蘭市で開催された。
- 7月31日 組合管内消防職団員親善野球大会を厚真町で開催し、厚真チームが優勝した。
- 8月26日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 8月26日 穂別町において内閣総理大臣表彰、建設大臣表彰、日本消防協会表彰旗受賞記念式典及び祝賀会を挙行了。
- 9月 6日 消防団員現地教育訓練及び消防団活性化対策研究会が苫小牧市で開催された。
- 9月29日 消防職員2名が退職（早来支署、穂別支署）、98名となる。
- 10月 1日 穂別消防団団長に原田幸一氏が再任された。
- 10月 4日 北海道東方沖地震が発生し、道東方面に大きな被害をもたらした。
- 11月 3日 元厚真消防団団長森 宏氏が叙勲授章された。

- 11月28日 追分町の建物火災で焼死者1名を出す。
防火管理者上級講習会を厚真町で開催した。
- 12月 8日 三陸はるか沖地震が発生し、東北地方に大きな被害をもたらした。
- 12月20日 消防署鶴川支署に指揮広報車（いすゞビックホン4WD）を更新配置した。
消防署穂別支署に消防資機材搬送車（三菱キャンター4WD）を購入配置した。
- 12月26日 組合議会第3回定例会を開催した。

国内の主な事故・災害

- 4月26日 愛知県名古屋空港で中華航空機着陸失敗墜落炎上事故 死者246名 負傷者7名
- 6月27日 長野県で松本サリン事件 死者7名 中毒症79名
- 12月28日 三陸はるか沖地震 M7.5 震度6 死者3名 負傷者787名 全半壊60棟

平成7年

1995年

- 2月 6日 鶴川消防団第三分団に小型動力ポンプ付積載車（いすゞパイル）を購入配置した。
- 2月24日 厚真消防団第一分団に消防ポンプ自動車（ヒノ、CD-II型）を更新配置した。
- 3月10日 鶴川消防団団長に佐藤延宏氏が再任された。
- 3月17日 鶴川町汐見地区に消防団緊急伝達システム（サイレン塔）を建設した。
- 3月23日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 3月31日 穂別消防団第四分団車庫兼詰所（木造2階建117.45㎡）及びホース乾燥塔を新築した。
- 4月 1日 消防本部総務課長に消防署穂別支署長宇野和輝氏が、消防署穂別支署長に副支署長平野 正氏が、消防署厚真支署長青木秀夫氏の退職に伴い、消防署厚真支署長に消防署追分支署長宮本弘光氏が、消防署追分支署長に副支署長大崎繁晴氏がそれぞれ就任した。
消防職員6名を採用（早来支署、厚真支署、穂別支署各2名）し、103名体制とした。
早来消防団団長岩淵善助氏の退任に伴い、副団長太田三男氏が早来消防団長に就任された。
追分消防団団長村山 國氏の退任に伴い、第二分団長遠藤秀虎氏が追分消防団長に就任された。
- 5月 1日 統一地方選挙に伴い、岩淵善助氏（早来町議会選出）、伊藤広志氏、岡部 純氏（厚真町議会選出）、新田富夫氏（鶴川町議会選出）、山崎真照氏（穂別町議会選出）が消防組合議会議員に就任された。
- 5月16日 組合議会第1回臨時会を開催した。
議会議長に岡部 純氏、副議長に岩淵善助氏が選任された。
- 6月15日～16日 組合管内消防団現地教育訓練を江別市の北海道消防学校で開催した。
- 7月16日 組合管内消防職・団員親善野球大会を早来町で開催し、鶴川消防チームが優勝した。
- 8月 2日 消防署鶴川支署に高度救急救命用資機材（心電図モニター、ショックポンプ）を購入配備した。

- 8月24日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 9月 7日 消防団員現地教育訓練及び消防団活性化対策研究会が白老町で開催された。
- 10月 1日 穂別消防団団長原田幸一氏が再任された。
- 10月16日 組合管内消防団合同演習を迫分町で開催した。
- 10月31日 穂別消防団第三分団車庫前舗装工事（500㎡）をした。
- 11月 3日 元厚真消防団団長嶋田寅一氏が叙勲授章された。
- 11月 7日 防火管理者上級講習会を厚真町で開催した。
- 11月27日 早来消防団に小型動力ポンプ1台を更新配置した。
防火管理者上級講習会を厚真町で開催した。
- 12月14日 穂別消防団副団長大塚繁一氏（穂別町議会議員）が病氣療養中逝去された。
- 12月20日 消防本部に指揮広報車（トヨタランドクルザー）1台を購入配置した。
消防署厚真支署に指揮広報車（トヨタクラウン）1台、上厚真分遣所に指揮広報車（三菱パジェロ）1台を更新配置した。
消防署穂別支署に指揮広報車（トヨタハイスクオン）1台を更新配置した。
- 12月25日 組合議会第3回定例会を開催した。

国内の主な事故・災害

- 1月17日 阪神淡路大震災 M7.2 震度 7 死者6,432名 行方不明 3名 負傷者43,792名
住宅全壊104,906棟 住宅半壊144,274棟 住宅一部損壊263,702棟 住宅以外
全半壊4,848棟
- 3月20日 地下鉄サリン事件 死者12名 負傷者5,510名
- 12月 8日 福井県敦賀市の高速増殖原型炉「もんじゅ」ナトリウム漏出事故

平成8年

1996年

- 1月12日 厚真町浜厚真JR日高線踏切において、様似発着小牧行普通列車（2両編成）と大型ダンプカーが衝突し、大型ダンプカーが大破炎上し重軽傷者49名を出す災害が発生した。
- 1月19日 消防署早来支署及び消防署厚真支署に消防団緊急伝達システム各1式を購入した。
- 1月20日 消防署厚真支署に厚真町防災行政無線装置1台を購入配置した。
- 1月30日 鶴川消防団第一分団に消防ポンプ自動車（いすゞ4WD、CD-I型）を更新配置した。
- 2月23日 組合管内の無線交信の不感地帯解消のため早来町コロイ山に無線中継局を設置開局した。
- 3月 1日 穂別消防団第二分団詰所兼車庫（木造二階建120.11㎡、サイレン塔付）を新築した。
- 3月22日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 4月 1日 消防本部消防長武田 勲氏の厚真町役場復帰に伴い、消防本部次長畑 康雄氏が消防長に就任した。

- 消防職員2名を採用（早来支署、穂別支署各1名）し、104名体制とした。
- 4月29日 元早来消防団団長鈴木賢治氏が叙勲授章された。
- 7月 1日 胆振東部消防組合機構改革（消防本部2課制を総務課・警防課に企画管理課・予防課の2課を加え4課体制へ）実施する。
- 消防長畑 康雄氏が消防署長兼務に、消防署長目黒 勇氏が消防本部次長兼総務課長に、総務課長宇野和輝氏が警防課長に、消防署鶴川支署長尾谷常夫氏が企画管理課長に、消防署厚真支署長宮本弘光氏が予防課長に、消防署早来支署長加賀勝男氏が消防署厚真支署長に、消防署早来支署副支署長畠山与志則氏が早来支署長に、消防署鶴川支署副支署長水上範夫氏が鶴川支署長にそれぞれ就任した。
- 7月 4日 胆振地方支部消防操法訓練大会が白老町で開催された。
- 7月 8日 藤原正幸氏が厚真町長に当選し、管理者に再任された。
- 8月11日 組合管内消防職・団員親善野球大会を追分町で開催し、早来消防チームが優勝した。
- 8月18日 追分町議会議員選挙に伴い、追分町議会選出議員として横井靖夫氏が選出され消防議員となる。
- 8月27日 組合議会第2回定例会を開催した。
監査委員に新田富夫氏（鶴川町議会選出）が選任された。
- 9月10日 消防団員現地教育訓練及び消防団活性化対策研究会が厚真町で開催された。
- 11月20日 消防署鶴川支署に消防用ホース155本を更新配備した。
- 11月28日～29日 甲種防火管理者資格取得講習会を厚真町で開催した。
- 12月 1日 収入役吉岡 勇氏の退任に伴い、消防本部次長目黒 勇氏が収入役職務代理者に任命された。
- 12月20日 早来消防団に、防火衣90着を更新配備した。
消防署追分支署に救急自動車（トヨタハイエース4WD、2B型）を更新配置した。
- 12月24日 組合議会第3回定例会を開催した。
組合収入役に石山誠一郎氏（厚真町収入役）が選任された。

国内の主な事故・災害

- 2月10日 余市町の豊浜トンネル岩盤崩落事故 死者20名（路線バス1台、乗用車1台）
- 6月13日 福岡空港でガルーダ・インドネシア航空機火災 死者3名 負傷者109名
- 10月28日 広島市の高層アパート火災 負傷者2名（9階から出火、20階まで延焼）
- 12月 6日 長野県小谷村の蒲原沢土石流災害 死者13名 行方不明1名 負傷者8名
（初の緊急援助隊出動、東京消防庁47名、名古屋市消防局7名 計54名）

平成9年

1997年

- 1月14日 消防署厚真支署に高規格救急自動車（トヨタハイメック）を更新配置した。
- 2月 2日 穂別消防団に消防団緊急伝達システムを購入配備した。
- 3月24日 国道274号線にて車両29台による多重衝突事故が発生した。
- 3月25日 組合議会第1回定例会を開催した。
代表監査委員に飛谷富夫氏が再任された。

- 4月 1日 消防職員 2名を採用（厚真支署 1名、穂別支署 1名）し、105名体制とした。
胆振東部消防組合特別救助隊を編成（斉藤 実隊長以下26名）した。
鶴川消防団が女性消防団員を導入し、女性消防団員 5名を任命した。
- 4月27日 鶴川町内において不審火と思われる火災が多発し、消防署鶴川支署及び鶴川消防団が5月 5日まで深夜における特別警戒を実施した。
- 4月29日 元早来消防団副団長土田 四郎氏が叙勲授章された。
- 7月11日 組合管内消防団合同演習を早来町で開催した。
- 7月21日 組合管内消防職・団員親善野球大会を鶴川町で開催し、鶴川消防チームが優勝した。
- 8月19日 組合議会第 2 回定例会を開催した。
- 9月 8日 早来消防団が「無火災 5 0 0 日を達成」し、管理者より竿頭綬を授与された。
- 10月 1日 消防長畑 康雄氏が消防署長を兼務し、予防課長宮本弘光氏が企画管理課長に、警防課長宇野和輝氏が予防課長に、企画管理課長補佐渡辺 勲氏が警防課長にそれぞれ就任した。
穂別消防団長原田幸一氏の退任に伴い、副団長山崎正昭氏が穂別消防団長に就任した。
- 11月 3日 元追分消防団団長村山 國氏が叙勲授章された。
- 11月 5日 組合管内消防団員教育訓練を北海道消防学校で開催した。
- 11月16日 追分消防創設100周年記念式典及び祝賀会を挙行了した。
- 12月21日 追分町内で焼身自殺により焼死者 1 名を出す。
- 12月24日 組合議会第 3 回定例会を開催した。

国内の主な事故・災害

- 1月 2日 島根県隠岐島沖でロシア船籍タンカー・ナホトカ号海難重油流出事故 死者 1名 重油6, 240k流出、重油回収作業中のボランティア 4名が過労死
- 3月11日 茨城県東海村の核燃料開発事業団で使用済み核燃料再処理施設火災
- 4月23日 上富良野町で観光バス転落事故 負傷者33名
- 5月 8日 札幌市のパナプラザエイト電気店火災 消火作業中の消防職員 2名が殉職
- 6/19~7/9 九州地方に台風7号・8号・9号による豪雨・風水害 死者30名 負傷者129名
- 7月10日 鹿児島県出水市で土石流災害 死者21名 負傷者 9名 全壊25棟
- 12月16日 ポケモン騒動 テレビ東京の人気アニメ「ポケットモンスター」を見ていた児童が光感受性発作でけいれんを起こし、救急車で搬送された。

平成10年

1998年

- 2月17日 早来消防団遠浅分団に消防ポンプ自動車（ヒノ、CD-II型）を更新配置した。
- 3月 6日 自治体消防50周年記念大会が東京都で開催され、各消防団長及び副団長が参加した。
- 3月26日 組合議会第 1 回定例会を開催した。
- 3月31日 東部消防連絡協議会事務局を苫小牧市消防本部に引き継いだ。
- 4月 1日 早来消防団長太田三男氏の退任に伴い、副団長藤川八郎氏が早来消防団長に就任した。

任した。

- 4月29日 元厚真消防団分団長瀬戸義男氏が叙勲授章された。
- 6月 1日 厚真消防団団長に本瀬吉英氏が再任された。
- 6月11日 北海道主催による鶴川・沙流川連合水防訓練が鶴川町タンポポ公園にて開催され、消防署鶴川支署・鶴川消防団・穂別消防団及び厚真消防団が参加し、総指揮を鶴川消防団長佐藤延宏氏が執った。
- 7月 1日 消防本部予防課長宇野和輝氏が消防署鶴川支署長に、消防署鶴川支署長水上範夫氏が消防本部予防課長に就任した。
- 7月 3日 胆振地方支部消防総合訓練大会が大滝村で開催された。
- 8月11日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 8月28日 穂別町において前日から降りだした集中豪雨により穂別町内に大きな被害をもたらした。
- 8月30日 組合管内消防職・団員親善野球大会を穂別町で開催し、穂別消防チームが優勝した。
- 10月 1日 消防本部企画管理課長宮本弘光氏が消防署厚真支署長に、警防課長渡辺 勲氏が企画管理課長に、消防署厚真支署長加賀勝男氏が消防本部警防課長にそれぞれ就任した。
厚真消防団が女性消防団員を導入し、女性消防団員6名を任命した。
- 11月10日 日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署穂別支署に配置した。
- 11月18日 消防署厚真支署に高度救急救命用資機材を購入配備した。
- 11月19日 消防署早来支署及び早来消防団に消防用ホース150本を更新配備した。
- 12月11日 鶴川消防団に防火衣100着を更新配備した。
- 12月24日 組合議会第3回定例会を開催した。
消防職員の定数条例を108名に改める。

国内の主な事故・災害

- 8月27日 22都道県で大雨による被害 死者20名 行方不明 2名 負傷者51名 全壊70棟
- 9月17日 20都道府県で台風5号による被害 死者 6名 行方不明 1名 負傷者34名
- 9月25日 24都道府県で台風7号による被害 死者13名 行方不明 2名 負傷者540名
- 10月15日 28県で台風10号により被害 死者12名 行方不明 2名 負傷者44名

平成11年

1999年

- 1月 1日 消防職員1名を採用（追分支署、救急救命士）し、106名体制とした。
- 1月 4日 元早来消防団団長太田三男氏が死没者叙勲授章された。
- 2月25日 消防署厚真支署に救助工作車（ヒノ7t級、Ⅱ型）を購入配置した。
消防署穂別支署に高規格救急自動車（トヨタハイメック）を購入増強した。
- 3月10日 鶴川消防団長に佐藤延宏氏が再任された。
- 3月25日 組合議会第1回定例会を開催した。
- 4月 1日 消防職員2名を採用（追分支署1名厚真支署1名）し、108名体制とした。

- 4月 1日 追分消防団団長に遠藤秀虎氏が再任された。
厚真消防団に女性消防団員4名を任命し、10名体制とした。
- 4月29日 元厚真消防団副団長嘉指昭一氏が叙勲授章された。
- 5月 1日 統一地方選挙に伴い、大屋和一氏（早来町議会選出）、岡部 純氏、宮腰義信氏（厚真町議会選出）、三倉英規氏（鶴川町議会選出）、五十嵐秀夫氏（穂別町議会選出）が消防組合議員に就任された。
- 5月20日 組合議会第1回臨時会を開催した。
議会議長に岡部 純氏（再任）、副議長に大屋和一氏が選任された。
監査委員に横井靖夫氏（追分町議会選出）が選任された。
- 6月11日 第51回北海道消防大会が旭川市で開催された。
- 6月30日 消防本部次長目黒 勇氏が退職した。
- 7月15日 第28回全道消防救助技術訓練指導会が札幌市で開催され、引揚救助の部で鶴川支署チームが北海道代表となる。
- 7月27日 消防職員1名（追分支署）死亡退職した。
- 8月 1日 「組合管内消防職・団員親善野球大会」を「消防職・団員親善スポーツ大会」に改称し、第1回スポーツ大会（野球）を厚真町で開催し、追分消防チームが優勝した。
- 8月19日 組合議会第2回定例会を開催した。
- 8月19日 第28回全国消防救助技術大会が横浜市で開催され、鶴川支署チームが引揚救助の部で入賞した。
- 9月 1日 北海道防災訓練が厚真町及び苫小牧市で開催され、消防署厚真支署及び厚真消防団が参加した。
- 9月20日 消防職員1名を採用（追分支署）し、107名体制となる。
- 9月27日 道東自動車道千歳恵庭一夕張間開通に伴う、大型交通事故想定訓練が夕張市管轄で開催され、追分支署救急隊及び特別救助隊が参加した。
- 9月30日 高度救急救命用心電図受信装置を購入し、王子総合病院に配置した。
- 10月 1日 早来消防団が女性消防団員を導入し、女性消防団員5名を任命した。
- 10月 7日 道東自動車道（千歳恵庭一夕張間）が開通した。
- 11月 3日 元早来消防団団長太田三男氏が叙勲授章された。
- 11月 4日 消防署早来支署に高規格救急自動車（日産パラメック）を更新配置した。
- 11月22日 消防署鶴川支署に小型動力ポンプ付水槽車（いすゞ）を更新配置した。
- 11月25日 消防署追分支署に高規格救急自動車（トヨタハイメック）を購入増強した。
- 11月29日 厚真消防団に消防団員搬送車（トヨタ）を購入配置した。
- 12月 2日 消防署厚真支署庁舎に厚真消防団第一分団詰所（鉄骨造平屋建197㎡）を増築した。
- 12月24日 組合議会第3回定例会を開催した。

国内の主な事故・災害

- 5月24日 横浜市鶴見区の麻雀荘ミナミ火災 死者6名 負傷者2名
- 6/23～7/3 26府県で大雨による被害 死者39名 行方不明1名 負傷者69名
- 9月16日 17府県で台風16号により被害 死者5名 行方不明6名 負傷者6名

9月21日 33道府県で台風18号による被害 死者28名 負傷者748名 全壊187棟
 10月 1日 茨城県東海村でウラン加工施設放射線被爆事故 被爆者23名

平成12年

2000年

- 2月18日 消防署穂別支署に消防緊急通信指令装置一式を更新配備した。
- 3月 2日 追分消防団に防火衣25着を更新配備した。
- 3月30日 緊急火山情報第1号により「有珠山が数日以内に噴火する恐れがある」ため、
 ～5月8日 西胆振消防組合から北海道広域消防相互応援協定に基づく応援要請が出され、
 救急隊1隊及び指揮隊1隊を応援出動される。
 (3月31日午後 1時08分有珠山噴火)
 この間、延べ64日間、164名が応援出動した。
- 3月31日 消防職員1名が依願退職した。
- 5月 1日 消防職員2名を補充(救急救命士2名、厚真支署、穂別支署)し、108名体制
 となる。
- 6月 1日 消防本部に高度救急救命処置用訓練人形を購入配備した。
- 6月10日 全国女性消防団員活性化大会が札幌市で開催され、各団幹部及び女性団員が参
 加した。
- 6月16日 第52回北海道消防大会が静内町で開催された。
- 7月10日 藤原正幸氏が厚真町長に当選し、管理者に再任された。
- 7月27日 北海道消防操法訓練大会が北海道消防学校で開催され、追分消防団が小型ポン
 プの部に出場した。
- 7月31日 消防職員1名が退職(厚真支署)した。
- 8月31日 組合議会第2回定例会を開催した。
 副管理者安倍利夫氏の退任に伴い、畑嶋征二氏(厚真長助役)が副管理者に選
 任された。
 議会議員宮腰義信氏の辞任に伴い、海沼裕作氏(厚真町議会選出)が組合議会
 議員に就任された。
 監査委員に横井靖夫氏が再任された。
- 11月22日 穂別消防団に防火衣90着を更新配備した。
- 11月26日 第2回消防職・団員親善スポーツ大会(アイスゲット)が早来町で開催され、
 早来ダービーが優勝した。
- 11月29日 早来消防団に消防用ホース200本を更新配備した。
- 12月 1日 組合議会第3回定例会を開催した。
 収入役に石山誠一郎氏が再任された。
- 12月 8日 消防署早来支署に高度救急救命用資機材一式を購入配備した。
- 12月15日 消防署鶴川支署に高規格救急自動車(いすゞ)を更新配置した。

国内の主な事故・災害

3月 8日 東京都の営団地下鉄日比谷線脱線事故 死者 2名 負傷者約40名
 6月10日 日進化工(株)群馬工場(ヒドロキソ・アミン蒸留棟)爆発火災 死者 4 負傷者28名

9月 2日	東京都三宅島噴火により全島民へ避難指示命令を発令
9月10日	18府県で大雨による被害 死者10名 負傷者89名 全半壊312棟
10月 6日	鳥取県西部地震 M7.3 震度6強 負傷者138名 全壊368棟

平成13年

2001年

- 2月23日 早来消防団安平分団に消防ポンプ自動車（CD-II型）を更新配置した。
消防署厚真支署上厚真分遣所に大型化学消防ポンプ自動車（大I型）を更新配置した。
- 3月27日 組合議会第1回定例会を開催した。
代表監査委員に飛谷富夫氏が再任された。
- 4月 1日 追分保育園幼年消防クラブ結成（クラブ員41名）する。
- 4月29日 元早来消防団副団長西田末敏氏が叙勲授章された。
- 5月 1日 消防職員1名を採用（救急救命士、厚真支署）し、108名体制となる。
- 5月15日 鶴川町で林野火災により焼死者1名を出す。
- 6月 6日 第53回北海道消防大会が遠軽町で開催された。
- 6月28日 胆振地方消防操法訓練大会が苫小牧市で開催され、小型ポンプの部で追分消防団が優勝した。
- 7月 1日 消防本部企画管理課長に消防署早来支署長畠山与志則氏が、消防署早来支署長に消防本部企画管理課長加賀勝男氏がそれぞれ就任した。
追分消防団が女性消防団員を導入し、女性消防団員5名を任命した。
- 8月24日 消防署追分支署に消防用超短波無線電話機（携帯5w2台・基地用10w1台）を更新配備した。
- 9月 6日 胆振東部消防組合設立30周年管理者訓練査閲が鶴川支署で行われた。
- 11月30日 消防署早来支署に可搬式散水装置（ポンプ式18L40台・電動式19L10台）を配備した。
消防署早来支署に消防用ホース（65mm50本）配備した。
消防署厚真支署に三相用モーターサイレン（町役場屋上）を更新配備した。
消防署厚真支署に消防用ホース（65mm115本・40mm20本）を配備した。
消防署鶴川支署に油圧救助資機材（油圧スプレッター・カッター・ラムシリンダー）を配備した。
消防署穂別支署に空気呼吸器（予備ボンバ・補助マスク・シリコン面体付）7台を配備した。
- 12月20日 消防署早来支署に小型動力ポンプ付積載車（4WD・Wシート・スノーブラウ付）を更新配備した。
消防署早来支署に消防団員搬送車（ワゴン型・4WD）を配備した。
- 12月25日 消防署厚真支署に防火衣（ヘルメット・特殊長靴・手袋）を更新配備した。

国内の主な事故・災害

- 3月26日 広島県の安芸灘を震源とする地震 M6.4 震度6弱 死者2名 負傷者176名
- 4月 4日 静岡県中部を震源とする地震 M5.3 震度5強 負傷者6名
- 5月 5日 千葉県四街道市の(有)菊地組寄宿舎火災 死者11名（違法建築物）、
- 7月21日 兵庫県明石市で花見見物の歩道橋で大勢が倒れ10人が死亡する

- 9月 1日 東京都歌舞伎町で雑居ビル火災 焼死者41名
 11月 7日 埼玉県越谷市で民家火災で 4児焼死

平成14年

2002年

- 1月25日 消防署鶴川支署に消防用超短波無線電話機（車載用10w）一式を配備した。
 消防署穂別支署に消防用超短波無線電話機（携帯5w・充電器・外部スピーカー付）を配備した。
- 4月 1日 消防本部消防長畑 康雄氏の退職に伴い、消防署穂別支署長平野 正氏が消防長に就任した。
 消防本部の組織を一部改革、予防課・警防課を統一し防災課とした。
 消防本部警防課長の尾谷常夫氏が総務課長に、消防本部総務課長の渡邊 勲氏が防災課長に、消防本部予防課長の水上範夫氏が消防署鶴川支署長に、それぞれ就任した。
- 4月29日 元早来消防団団長岩淵善助氏が叙勲授章された。
- 6月 1日 鶴川消防団団長佐藤延宏氏の退任に伴い、芦田 均氏が鶴川消防団団長に就任された。
- 6月30日 追分町若草地区に消火栓 1 基を設置した。
- 8月31日 消防署追分支署に消防用超短波無線電話機（基地局用、第3装置10W）を増設した。
- 10月17日 消防署鶴川支署に消防ホース（65mm10本）を配備した。
- 11月22日 消防署早来支署に指揮広報車（4WD、スノープラウ付）を更新配備した。
 早来消防団遠浅分団に三相用モーターサイレン（5.5kw・7.5ps・6方型）を更新配備した。
 消防署厚真支署に消防ホース（65mm40本、40mm20本）を配備した。
 鶴川町役場屋上に三相用モーターサイレン及びサイレン塔（7.5kw・6方型・電子サイレン付）を配備した。
 消防署鶴川支署に消防ホース（65mm10本）を配備した。
- 12月16日 穂別消防団第三分団に消防ポンプ自動車（CD I 型・Wキャブ・低床4WD）を更新配備した。
- 12月26日 厚真支署上厚真分遣所に資機材搬送車（4WD・スノープラウ付）を配備した。

国内の主な事故・災害

- 7月 9日 全国各地に台風6号による被害 死者 5名 行方不明者 1名 負傷者79名
 ~14日 住宅被害8,420棟
- 8月20日 香川県丸亀市本島における林野火災 焼損面積160ha 負傷者 6名
- 10月 2日 全国各地に台風21号による被害 死者 5名、負傷者73名 住宅被害1,446棟

平成15年

2003年

- 1月 1日 消防本部総務課長尾谷常夫氏が消防本部次長（兼総務課長）に就任した。

- 1月28日 早来支署に小型動力ポンプ積載車（4WD・スノーブラウ付）を更新配備した。
- 2月 7日 厚真町桜丘地区に防火水槽（40t級、Ⅱ次製品、耐震型）を設置した。
- 2月19日 鶴川消防団に消防ポンプ自動車（4WD、低床型）を更新配備した。
- 2月20日 消防署早来支署に小型動力ポンプ積載車（4WD・スノーブラウ付・Wキャブ）を更新配備した。
消防署厚真支署に小型動力ポンプ付水槽車（10,000L・セルボポンプ付・フルオートマチック）を更新配備した。
消防署厚真支署上厚真分遣所に泡原液搬送車（4,000L、全自動型）を更新配備した。
消防署厚真支署上厚真分遣所に資機材搬送車（4WD・スノーブラウ・パワーゲート付）を配備した。
消防署鶴川支署に消防ポンプ自動車（CDⅡ型、Wキャブ）を更新配備した。
- 4月 1日 消防本部消防長平野 正氏の退職に伴い、消防本部次長尾谷常夫氏が消防長に就任した。
消防本部企画管理課長畠山与志則氏が消防本部総務課長に、消防本部企画管理課長に消防署厚真支署副支署長嶋 力男氏が、消防本部防災課主幹（兼防災係長・兼消防署警防係長）に松永忠昭氏が、消防本部企画管理課係に大森和行氏がそれぞれ就任した。
消防署署長に防災課長の渡邊 勲氏が（兼防災課長）に就任した。
消防職員2名を採用（厚真支署1名、鶴川支署1名）し、108名体制とした。
- 5月 1日 統一地方選挙に伴い、納口専納助氏（早来町議会選出）、木村幸一氏、井上次男氏（厚真町議会選出）、三上純一氏（鶴川町議会選出）、星 正臣氏（穂別町議会選出）が消防組合議員に就任された。
- 5月19日 組合議会第1回臨時会を開催した。
議会議長に木村幸一氏（再任）、副議長に星 正臣氏が選任された。
- 9月 5日 早来町大町地区・北進地区にそれぞれ防火水槽各1基を増設した。
- 9月26日 十勝沖地震、M8.0、震度6弱、行方不明2名、負傷者849名、建物被害全壊101棟、半壊127棟、出光興産苫小牧精油所で地震直後、原油貯蔵タンク（3万k1）及び附属配管も漏洩で火災発生。苫小牧市消防本部より北海道広域消防相互応援協定に基づく出動要請を受け、胆振東部消防組合消防本部・札幌市消防局が出動し消火活動を実施した。
また、石油備蓄基地共同防災等の消防車両も出動し消火活動を実施した。
- 9月28日 出光興産苫小牧精油所ナフサ貯蔵タンク（3万3千k1）で全面火災発生、北海道広域消防相互応援隊及び全国から緊急消防援助隊が出動するとともに、自衛隊の応援協力等により全国各地から泡消火薬剤が搬送され、鎮火は30日午前6時55分で約44時間にも及ぶ消火活動を実施した。
- 11月10日 安平分団に三相用モーターサイレン（5.5kw、7.5ps、6方型）更新配備した。
- 12月18日 穂別消防団第二分団に消防ポンプ自動車（CDⅠ型、Wキャブ、低床4WD）を更新配備した

国内の主な事故・災害

- 4月11日 鹿児島県鹿児島市（有）南国花火製造所爆発事故、全壊 8棟、半壊 1棟、小損20棟、車両焼損21台、死者 9名、負傷者 5名もの被害があった。
- 5月26日 宮城県沖地震、M7.0、震度 5強、負傷者101名、火災発生件数 4件 建物被害245棟もの被害があった。
- 7月26日 宮城県北部地震、M6.5、震度 6強、負傷者591名、建物被害6,932件もの被害があった。
- 8月 8日 全国各地に台風10号による被害、死者12名、行方不明者 7名、負傷者92名、
～10日 建物被害2,634棟、北海道においても鶴川町、穂別町が大きな被害を受けた。
- 9月7日 全国各地に台風18号による被害、死者41名、不明 4名、負傷者1,301名、住
～8日 家の全半壊957棟、床上・床下浸水8,360棟もの被害が出る。
- 9月8日 栃木県黒磯市（株）ブリジストン栃木工場火災、工場全焼、乗用車用スタ
ットレスタイヤ約16万5千本焼失、消火活動に約2日を要するとともに、付近住民
1,708世帯、5,032名に避難指示が出された。
- 9月26日 十勝沖地震（M 8.0）の地震により出光興産精油所タンクのリング火災に伴い
出動する
- 9月26日 十勝沖地震、M8.0、震度 6弱、行方不明 2名、負傷者849名、建物被害全壊
101棟、半壊127棟、出光興産苫小牧精油所で地震直後、原油貯蔵タンク（3万
キロリットル）及び附属配管も漏洩で火災発生。
- 9月28日 出光興産苫小牧精油所ナフサ貯蔵タンク（約3万3千キロリットル）で全面火災発生
～30日 全国から緊急消防援助隊が出動するとともに、自衛隊の応援協力等により全国
各地から泡消火薬剤が搬送され、約44時間にも及ぶ消火活動を実施した。

平成16年

2004年

- 3月 4日 穂別消防団が消防庁長官より竿頭綬が授与された。
- 4月 1日 消防職員 1名を採用（厚真支署 1名）し、108名体制とした。
- 4月29日 元厚真消防団副団長大西秀晴氏が叙勲授章された。
元鶴川消防団部長川島 勤氏が叙勲授章された。
- 6月15日 穂別支署で油圧救助用資機材（油圧ポンプ・カッター・スプレッダー）を配置する。
- 9月12日 消防職・団員親善スポーツ大会（パークゴルフ）が厚真町で開催された。
（厚真消防チーム優勝）
- 9月30日 追分町青葉地区、若草地区、白樺地区に消火栓 3基を設置した。
追分支署に消防用超短波無線電話（携帯用 5w） 3台を更新配備した。
- 11月 3日 元早来消防団分団長黒川輝明氏が叙勲授章された。
元早来支署長濱谷正毅氏が危険業務従事者叙勲を授章された。
元穂別消防団団長原田幸一氏が叙勲授章された。
- 12月 1日 穂別消防団に消防ポンプ自動車CD-I型（低床型、4WD）を配置した。
- 12月20日 厚真支署上厚真分遣所に大型高所放水車（ダブルキャブ・バケット付）を更新配備した。
- 12月22日 早来支署に小型動力ポンプ付水槽車（シングルキャブ・10,000L・フルオート・マチック）を更

新配備した。

鵜川町花岡道路拡幅に伴い防火水槽（40㎡・有蓋）を移転する。

追分支署に水槽付消防ポンプ自動車（ダブルキャブ・3,000L・フルオートマチック）を更新配備した。

国内の主な事故・災害

- 7月12日~14日 新潟県・福島県大雨により大きな被害を受けた。
- 9月7日 台風18号被害状況、死者41人、不明 4人、負傷者1,301人、住家の全半壊
~8日 957棟 床上・床下浸水8,360棟もの被害が出る。
- 9月1日 20時20分頃群馬・長野県境の浅間山噴火した火山活動レベルによるとレベルは3の小~中噴火、その後14日から18日にかけて小噴火、23日から25日にかけて小~中噴火、29日にも中噴火があった。
- 9月29日 台風21号と秋雨前線に伴う被害状況、死者20名、不明 7名、負傷者85名 住
~30日 家の全半壊52棟 床上・床下浸水13,845棟の被害が出る。
- 10月23日 17時56分頃新潟県中越地方で（M6.8）地震が発生、死者68名、負傷者・重傷
633名、軽傷4,172名 住家被害・全壊3,175棟、半壊13,808棟、一部破損104,917棟、建物火災9棟もの被害が出た。

平成17年

2005年

- 2月10日 早来消防団が日本消防協会より竿頭綬が授与された。
- 2月15日 鵜川支署に指揮広報車（ボネット型、4WD、オートマチック）を配備した。
- 3月31日 安平支署加賀勝男支署長が定年退職する。
- 4月 1日 安平支署島山與志則支署長が就任する。
- 4月29日 元鵜川消防団副団長池田哲男氏が叙勲授章された。
- 5月31日 消防団員用活動服50着を購入した。
- 7月10日 消防職・団員親善スポーツ大会（綱引き）が早来町で開催された。
（厚真消防チーム優勝）
- 8月12日 穂別支署に救急資機材（CO₂モニター）を配置した。
- 8月31日 追分支署に消防用超短波無線電話（携帯用5w）3台を更新配備した。
- 10月10日 鵜川町宮戸地区に消防団緊急情報システムを設置した。
- 10月28日 早来支署庁舎のモーターサイレンを更新配備した。
- 11月 3日 元追分消防団団長遠藤秀虎氏が叙勲授章された。
元早来支署長山路光二氏が危険業務従事者叙勲を授章された。
- 11月29日 厚真支署に指揮広報車（クラウンセダン・オートマチック）を更新配備した。
厚真支署上厚真分遣所の指揮広報車（エスティマ・オートマチック）を更新配備した。
- 12月 2日 穂別支署に指揮広報車（ランドクルーザープラド・オートマチック）を更新配備した。
- 12月 5日 早来支署に指揮広報車（トヨタアルファード・オートマチック）を更新配備した。
- 12月19日 厚真支署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型、ダブルキャブ・1,500L）を更新配備した。
厚真支署上厚真分遣所に消防ポンプ自動車（CD-Ⅱ型・ダブルキャブ・4WD・低床型）を更新配備した。

12月20日 厚真町本郷地区と朝日地区に防火水槽（40m³、有蓋）2基を設置した。
穂別支署に半自動除細動器を更新配備した。

国内の主な事故・災害

- 3月20日 午前10時50分ころ福岡県西方沖（M7.0）の地震により玄界灘で住宅200棟全壊及び一部損壊し、島民700人が島外に避難する地震が発生した。
- 4月25日 兵庫県尼崎市久々知3丁目27番40号JR宝塚駅発上り快速電車（JR福知山線）が脱線し、建物に衝突、死者107名（男59名、女48名）負傷者549人（重症139名、軽症410名）の重大事故が発生した。
- 9月4日 台風14号により九州地方の長崎県諫早市に上陸し、中国、四国各地で月平均雨量2倍を超え、宮崎県南郷村神門では月平均雨量の2.9倍（1,321mm）に達し、また、九州、中国、四国と北海道地方の61地点でこれまでののに雨量の記録を更新する大雨となった。

平成18年

2006年

- 2月9日 早来支署に小型動力ポンプ1台を更新配備した。（石油交付金事業）
- 2月10日 鶴川支署に空気呼吸器4台を配備した（石油交付金事業）
- 2月15日 早来支署に気象情報収集装置を更新配備した。（石油交付金事業）
- 2月20日 厚真支署に空気呼吸器3台を配備した。（石油交付金事業）
鶴川支署に消防用ホース65本を配備した。（石油交付金事業）
- 3月3日 厚真消防団が消防庁長官より竿頭綬が授与された。
- 3月26日 早来消防団藤川八郎団長及び追分消防団澤田弘士団長が退団された。
- 3月27日 早来町と追分町の合併により、安平町となる。
合併に伴い早来支署が安平支署に追分支署が安平支署追分出張所となる。
安平支署大崎繁晴支署長及び安平支署追分出張所畠山與志則所長が就任する。
早来消防団と追分消防団が合併して安平消防団となる。
安平消防団団長に上田陽氏が就任した。
鶴川町と穂別町が合併により、むかわ町となる。
- 6月1日 鶴川消防団団長に芦田均氏が再任された。
- 6月27日 胆振地方消防操法訓練大会がむかわ町で開催され、厚真消防団がポンプ車の部で準優勝となる。
- 7月9日 消防職・団員親善スポーツ大会（パークゴルフ）が安平町で開催された。
（厚真消防チーム優勝）
- 7月20日 北海道消防操法訓練大会に厚真消防団がポンプ車の部に出場した。
- 11月3日 元消防組合消防本部警防課長佐藤重瑠氏が危険業務従事者叙勲を授章された。
- 12月18日 安平支署に消防ポンプ自動車（CD-I型）1台を更新配備した。（石油交付金事業）
厚真支署に高規格救急自動車を更新配備した。（石油交付金事業）
- 12月20日 厚真町幌内地区、朝日地区、新町地区（中央小学校）、上厚真地区に防火水槽（40m³、有蓋）を4基を設置した。（石油交付金事業）

国内の主な事故・災害

- 6月10日 梅雨前線による大雨の被害が発生、岡山、山口、愛媛、福岡、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄県に大きな被害が出た。
- 6月12日 5時01分頃大分県中部地震（M6.2）が発生、負傷者 8名（重症 2名、軽傷 6名）の被害が出た。
- 9月15日 台風13号と豪雨による被害が発生、北海道、鳥取、島根、岡山、広島、山口、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄県に大きな被害が出た。
- 11月 7日 佐呂間町の竜巻による被害が発生、死者 9名、負傷者19名（重症 6名、軽傷 23名）住家被害・全壊 7棟、半壊 7棟、一部破損25棟、非住家40棟の被害が出た。

平成19年

2007年

- 1月30日 厚真支署に小型動力ポンプ 1 台を更新配備した。（石油交付金事業）
- 2月 8日 安平消防団が日本消防協会より表彰旗が授与された。
- 2月14日 厚真支署に消防用ホース185本を配備した。（石油交付金事業）
- 2月20日 厚真支署に空気圧縮放水システム 4 台を配備した。（石油交付金事業）
- 2月20日 鶴川支署に消防用ホース50本を配備した。（石油交付金事業）
- 2月20日 穂別支署に救助用資機材 1 式を更新配備した。（石油交付金事業）。
- 3月 9日 厚真支署に防火服25着を更新配備した。（石油交付金事業）
- 3月 9日 鶴川支署に指揮広報車 1 台を更新配備した。（石油交付金事業）
- 3月31日 穂別支署宇野和輝支署長が定年退職する。
- 4月 1日 穂別支署猪狩利春支署長が就任する。
新職員 1 名を採用する。（実員107名）
- 5月17日 午前 8 時23分頃、むかわ町道道穂別鶴川線でバスが路外に逸脱し、横転事故が発生、12名の重軽傷者が出る事故があった。
- 6月 6日 早来消防百周年式典を挙行了た。
- 7月 8日 消防職・団員親善スポーツ大会（ソフトボール）が むかわ町で開催する。
（鶴川消防チーム優勝）
- 9月15日 厚真消防100周年町民消防フェスティバルを開催した。
- 10月28日 鶴川ライオンズクラブより自動体外式除細動器 2 式を寄付採納した。
- 11月 3日 元消防長の菅原辰五郎氏が危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）を授章された。
- 11月24日 厚真消防100周年記念式典及び祝賀会を開催した。
- 11月26日 安平支署に消防用ホース120本を配備した。（石油交付金事業）
- 11月26日 穂別支署に消防用ホース25本を配備した。（石油交付金事業）
- 11月28日 穂別支署に消防用超短波無線電話機 6 台を更新配備した（石油交付金事業）
- 11月29日 厚真支署上厚真分遣所に耐熱服10着を更新配備した。（石油交付金事業）
- 11月30日 厚真支署に救助用資機材 1 式を更新配備した。（石油交付金事業）
- 12月14日 安平支署追分出張所に消防団員搬送車 1 台を配備した。（石油交付金事業）

- 12月12日 穂別支署に高圧噴霧消火装置1台を配備した。(石油交付金事業)
- 12月14日 厚真町高丘と東和に防火水槽40m³級を各1基整備した。(石油交付金事業)
- 12月27日 穂別支署に小型動力ポンプ付水槽車1台を更新配備した。

国内の主な事故・災害

- 1月18日 北見市でガス漏れが発生、3名死亡、11名が一酸化炭素中毒で手当を受けた。
- 1月30日 奈良県吉野郡上北山村大字西原において発生した土砂崩れによる車両埋没事故で死者3名(男性1名、女性2名)が出た。
- 3月25日 9時42分頃、石川県能登半島沖地震(震度6強)により、死者1名、重傷者91名、軽傷者265名、建物全壊684棟、半壊1,733棟、一部損壊26,935棟の被害があった。
- 6月19日 14時29分、東京都渋谷区(株)ユニマツトビューティ&スパシエスパB棟の爆発事故により、死者3名、負傷者8名が出る事故があった。
- 6月24日 第58回全国植樹祭が天皇陛下が来道し、つた森山林に植樹が実施された。
- 7月5日 梅雨前線に伴う大雨により九州・四国地方に完遂・崖崩れが発生し熊本県を中心に被害が生じた。被害状況は人的被害、死者6名、行方不明者1名、負傷者・重症25名、軽症54名、住家被害・全壊26棟、半壊26棟、一部破損218棟、床上浸水420棟、床下浸水2,993棟)の大きな被害が出た。
- 7月16日 10時13分頃、新潟県中越沖地震(震度6強)により、人的被害・死者15名、負傷者2,345名(重傷者329名、軽傷者2,016名)、住家被害・全壊1,319棟、半壊5,621棟、一部破損35,070棟、火災・建物1件、その他2件の大きな地震が発生した。
- 9月7日 台風9号により東海・関東・東北地方に大きな被害が出た、人的被害・死者1名、行方不明者2名、負傷者87名(重傷19名、軽傷68名)住家被害・全壊11棟、半壊28棟、一部破損539棟、床上浸水356棟、床下浸水893棟)非住家被害公共建物38棟、その他238棟)もの被害が出た。
- 10月27日 午後4時すぎ、美唄市大通りのビル火災により消火活動中に美唄市消防本部消防士2名が殉職する事故が発生した。
- 12月21日 三菱化学(株)鹿島事業所エチレンプラント、エチレンヘビーエンド(第3石油)が配管フランジ部分から漏洩し何らかの原因により着火し火災となり4人の犠牲者が出た。

平成20年

2008年

- 2月5日 安平支署に防火服36式を更新配備した。(石油交付金事業)
- 2月19日 鶴川支署に水槽付消防ポンプ自動車1台を更新配備した。(石油交付金事業)
- 3月7日 鶴川消防団が消防庁長官より竿頭綬を授与した。
- 3月31日 消防本部尾谷常夫消防長、安平支署大崎繁晴支署長、厚真支署宮本弘光支署長、鶴川支署水上範夫支署長が定年退職する。
厚真消防団大西武雄団長が退団された。
- 4月1日 消防本部渡邊 勲消防長、中川信二次長、五十嵐三雄署長が就任する。

安平支署島山与志則支署長、厚真支署嶋 力男支署長、鶴川支署松並政一支署長が就任する。

新職員 2 名を採用する。(実員107名)

厚真消防団団長に藏重豊一氏が就任した。

- 4月29日 元厚真消防団副団長吉田良則氏が春の叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
- 5月 1日 元穂別消防団分団長星 勇氏が高齢者叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
- 6月 8日 第14回全国女性消防団員活性化北海道大会が札幌市で開催され各消防団が参加した。
- 7月 7日 管理者藤原正幸が組合管理者(任期満了)を退任する。
- 7月 9日 組合管理者に構成町長より厚真町宮坂尚市朗町長が組合管理者に互選される。
- 8月31日 副管理者畑嶋征二が副管理者(任期満了)を退任する。
- 9月 1日 組合副管理者に古川元三(厚真町副町長)が選任される。
- 10月 5日 消防職・団員親善スポーツ大会(ソフトボール)がむかわ町穂別地区で開催した。(鶴川消防チーム優勝)
- 10月 9日 鶴川消防団第二分団詰所が建設される。(むかわ町生田441番地5 木造平屋 109.3㎡)
- 10月10日 消防本部・厚真支署合同庁舎外壁屋上防水工事を完了する。(本部64.9% 厚真支署35.1%)
- 10月17日 組合代表監査員に石橋俊樹氏が選任される。
- 11月18日 鶴川支署のモーターサイレンを1式更新する。(石油交付金事業)
- 11月20日 鶴川消防団が北海道消防表彰優良消防団(表彰旗)を授与する。
- 11月26日 穂別支署で空気呼吸器4式を整備する。(石油交付金事業)
- 11月28日 安平支署追分出張所に気象情報収集装置1式を整備する。(石油交付金事業)
- 12月 8日 安平町追分白樺に防火水槽40㎡級を1基整備する。(石油交付金事業)
- 12月10日 安平支署新庁舎設計委託を完了する。
- 12月12日 安平支署の救助用資機材1式を整備する。(石油交付金事業)

国内の主な事故・災害

- 3月 3日 愛知県名古屋市で発生した雑居ビル火災により風俗店従業員3名が死亡した。
- 4月28日 北海道札幌市において風俗店特殊浴場(エレガントバス江戸城)の火災発生による死者3名(男性客1名、女性従業員2名)が死亡した。
- 6月 2日 神奈川県綾瀬市の知的障害者施設(ハイムひまわり)の火災により死者3名、負傷者1名が発生した。
- 10月 1日 大阪府大阪市にて発生した個室ビデオ店の火災により死者15名、負傷者10名が発生した。
- 11月13日 宮城県仙台市で発生した老人福祉施設(六郷の杜)の火災で負傷者33名(重症3名、中等症9名、軽症21名)が発生した。

平成21年

2009年

- 1月27日 厚真支署のモーターサイレン1式を更新する。(石油交付金事業)

- 1月28日 厚真支署の空気呼吸器5式を更新する。(石油交付金事業)
- 1月28日 安平支署追分出張所の空気呼吸器3式を更新する。(石油交付金事業)
- 1月29日 厚真支署の気象情報収集装置1式を更新する。(石油交付金事業)
- 2月5日 鶴川支署の防火服20式を更新する。(石油交付金事業)
- 2月5日 穂別支署の防火服18式を更新する。(石油交付金事業)
- 3月31日 消防本部渡邊 勲消防長、厚真支署嶋 力男支署長が定年退職する。
鶴川消防団団長芦田 均氏が退団された。
- 4月1日 消防本部中川信二消防長、五十嵐三雄次長、山崎 豊企画管理課長、厚真支署吉村正弘支署長が就任する。
新職員2名を採用する。(実員106名)
鶴川消防団団長に前田嗣夫氏が就任された。
- 4月29日 元組合管理者(元厚真町長)の藤原正幸氏が地方自治功勞により叙勲(旭日双光章)を授章された。
元早来消防団団長の藤川八郎氏が春の叙勲(瑞宝双光章)を授章された。
元厚真支署長青木秀夫氏が危険業務従事者叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
- 5月1日 新職員1名を採用する。(実員107名)
- 6月20日 鶴川・沙流川水防公開演習に管内消防団員120名、職員27名参加した。
- 6月26日 胆振地方消防訓練大会が伊達市大滝地区にて開催される。
ポンプ車の部(優勝:鶴川消防団 準優勝:厚真消防団)
小型ポンプの部(優勝:洞爺湖消防団 準優勝:安平消防団)
- 7月19日 消防職・団員親善スポーツ大会(雨天により綱引き)が厚真町で開催される。
(鶴川消防チーム優勝)
- 7月23日 北海道消防訓練大会(小型ポンプ操法)に穂別消防団が出場した。
- 10月22日 新型インフルエンザ対策本部会議を開催する。(本部長 中川消防長)
- 11月2日 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金が創設される。
平成22年度 安平支署(小型動力ポンプ付水槽車)
平成23年度 鶴川支署(水槽付消防ポンプ自動車)
平成24年度 穂別支署(水槽付消防ポンプ自動車)
- 11月3日 元厚真消防団団長の大西武雄氏が消防功勞により秋の叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
- 12月6日 厚真支署の空気呼吸器用ボンベ14本を更新する。(石油交付金事業)

国内の主な事故・災害

- 1月7日 北海道函館市で飲食店(第三セイコービル)で発生した火災で負傷者17名(重症1名、中等症5名、軽症11名)が発生した。
- 3月19日 群馬県渋川市の老人福祉施設(静養ホームたまゆら)で発生した火災により死者10名(男性6名、女性4名)が発生した。
- 3月23日 成田国際空港A滑走路に着陸を試みた貨物航空機が着陸に失敗し炎上した火災で死者2名が発生した。
- 7月5日 大阪府大阪市のパチンコ店(パチンコcross一ニコニコ)で発生した火災により死者4名(男性1名、女性3名)負傷者19名(重症5名、中等症3名、軽

症 11名)が発生した。

- 7月16日 北海道大雪山系(トムラウシ山)登山でツアー客18名、単独 1名)が遭難し死者 9名が発生した。
- 7月19日 活発な梅雨前線の影響で中国、九州北部で記録的な豪雨となり被害が続出した。特に山口県では特別養護老人ホームに土砂が流れ込み、入居者 7人が死亡し、「平成21年7月中国・九州北部豪雨」と命名、全国で死者31名、負傷者55名が発生した。(消防庁発表第29号)
- 9月11日 岐阜県消防防災ヘリコプター(若鮎Ⅱ号・3名搭乗中)が北アルプスにおける災害に出動中、岐阜県高山市奥飛騨温泉郷神坂地内(ジャンダルム)付近で墜落し、搭乗員 3名が死亡した。
- 11月17日 静岡県浜松市のマージャン店の火災により死者 4名、負傷者 3名(中等症 2名、軽症 1名)が発生した。
- 11月22日 東京都杉並区の雑居ビルで発生した火災により、死者 4名、負傷者12名(重篤 1名、中等症 3名、軽症 8名)が発生した。

平成22年

2010年

- 2月15日 厚真支署の背負式消火水のう19式を更新する。(石油交付金事業)
- 2月24日 鶴川消防団第一分団詰所が改築される。(むかわ町美幸2丁目76番地1外 木造2階建 324㎡)
- 2月28日 27日(日本時間)に発生したチリ地震により大津波警報発令される。消防本部、厚真支署、鶴川支署が警戒態勢をとる。
- 3月12日 消防署安平支署消防庁舎が建設される。(安平町早来大町141番地3 RC造2F 1,509.42㎡)
- 3月31日 消防署安平支署消防庁舎の建設落成式挙行される。
- 4月 1日 安平消防団組織改編する。
(追分一分団と追分二分団が統合して追分分団とし、安平消防団は4分団組織となる。)
胆振東部消防組合組織改編する。
(役職を主幹(管理職)、係長、主査、主任、係とする。)
- 5月12日 議会副議長に長谷川健夫氏、議員監査委員に高山正人氏が選任された。
- 7月11日 消防職・団員親善スポーツ大会が口蹄疫問題により中止となる。
- 7月15日 北海道消防操法訓練大会に安平消防団がポンプ車操法の部に出場する。
- 8月20日 第62回北海道消防大会が苫小牧市に於いて開催される。
- 9月24日 胆振東部危険物安全協会創立20周年記念式典及び祝賀会が挙行される。
- 10月 6日 鶴川支署にJA共済連より高規格救急自動車が寄贈される。(10月8日寄贈式)
- 10月27日 厚真支署の背負式消火水のう18式を更新する。(石油交付金事業)
- 11月 3日 元厚真消防団団長の本瀬吉英氏(瑞宝双光章)、元追分消防団団長の澤田弘士氏(瑞宝単光章)が消防功勞により秋の叙勲を授章された。
- 11月 8日 厚真支署の消防用ホース20本を更新する。(石油交付金事業)
- 11月10日 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金創設される。

- 平成23年度 鶴川支署（水槽付消防ポンプ自動車）
 平成24年度 穂別支署（水槽付消防ポンプ自動車）
 11月19日 穂別消防団が北海道消防表彰で優良消防団として表彰旗を授与された。
 11月21日 鶴川消防創設百周年記念式典及び祝賀会が挙行される。
 12月 6日 厚真支署の消防用ホース14本を更新する。（石油交付金事業）

国内の主な事故・災害

- 3月13日 北海道札幌市の認知症高齢者グループホーム（グループホームみらいとんでん）で発生した火災で死者 7名（男性 3名、女性 4名、全て入居者）負傷者 2名（重症女性 1名（従業員）、軽症女性 1名（入居者））が発生した。
 4月 2日 北海道厚沢部町で発生した車両火災で乳幼児 4名が死亡した。
 4月20日 宮崎県内で口蹄疫の発症により全国に様々な影響を及ぼした。
 6月11日 梅雨期の大雨による被害
 ~ 全国で活発な梅雨前線の影響で各地で猛烈な雨が降り、被害が続発した。
 全国で死者15名、行方不明 5名、負傷者19名、住家被害約7,500棟
 7月25日 埼玉県消防防災ヘリ（あらかわ1号）が同県内の山中で救助活動中に墜落し、5人が死亡。（パイロット 2人、県防災航空隊員 2人、秩夫市消防本部救助隊員 1人）
 10月20日 鹿児島県奄美大島で記録的な大雨による被害
 ~ 県雨量計で 1時間に131mmの猛烈な大雨を観測 死者 3人、軽症 3人の人的被害

平成23年

2011年

- 1月 1日 胆振東部消防組合のホームページを開設する。
 1月10日 午後3時23分頃、むかわ町田浦地区の道道交差点で、軽乗用車とデイサービス送迎マイクロバス（デイサービス・たんぽぽ）が衝突し、中等傷2名、軽症名9の発生に伴い、鶴川・厚真・穂別支署の救急車が出動する。
 1月11日 元鶴川消防団団長の故芦田 均氏が叙勲（瑞宝単光章・死亡叙勲）を授章された。
 2月 4日 穂別消防団第一分団詰所が新築される。（むかわ町穂別29番地20 木造平屋 119.246㎡）
 2月28日 安平支署追分出張所の小型動力ポンプ付水槽車1台を更新する。（石油交付金事業）
 3月11日 14時46分頃、三陸沖を震源とする国内観測史上最大のM9.0の東北地方太平洋沖地震が発生し、各支署職員が自主集結し警戒広報等にあたる。
 3月11日 東北地方太平洋沖地震発生に伴う大津波警報発令により厚真町、むかわ町に災害対策本部設置する。厚真職・団員、鶴川職・団員が出動する。
 3月16日 緊急消防援助隊2次（北海道隊）道南ブロック救急隊として隊員を派遣する。
 隊長（本部）藤原司令、隊員（本部）松永司令補、（安平）若松司令補
 3月21日 （穂別）高橋（旭）士長、（鶴川）大野士長

- 3月25日 緊急消防援助隊5次（北海道隊）道南ブロック救急隊として隊員を派遣する。
 隊長（穂別）長谷部司令、隊員（厚真）立石司令補（鶴川）稲葉司令補
 3月30日 （鶴川）安藤士長 （安平）長幡士長
- 3月31日 安平支署畠山與志則支署長、中島幹夫主幹が定年退職する。
- 4月1日 消防署山崎 豊署長、安平支署大島 明支署長、追分出張所岩佐 弘出張所長
 が就任する。
 新職員1名を採用する。（実員106名）
- 4月1日 緊急消防援助隊7次（北海道隊）道南ブロック消火隊として隊員を派遣する。
 隊長（鶴川）田村司令、隊員（厚真）森田司令補、（鶴川）千葉士長
 4月7日 （安平）加勢士長、（穂別）宇野士長
- 4月13日 緊急消防援助隊10次（北海道隊）道南ブロック後方支援隊として隊員を派遣す
 る。
 隊長（厚真）海沼司令、隊員（穂別）藤崎士長
- 4月19日 緊急消防援助隊13次（北海道隊）道南ブロック後方支援隊として隊員を派遣す
 る。
 隊長（安平）蘇武司令、隊員（厚真）加勢司令補
- 5月1日 緊急消防援助隊（北海道隊）解散する。
- 4月29日 元消防長の畑 康雄氏が危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を授章された。
 元厚真消防団副団長の佐藤勝美氏が春の叙勲（瑞宝単光章）を授章された。
- 5月18日 議会議長に海沼裕作氏が選任された。
- 5月28日 JR石勝線占冠新夕張間の第1 ニニウトンネル内で釧路発札幌行き特急列車スー
 パー大空14号（6両編成）が脱線炎上し、広域応援出動した。救急隊1隊（3名）
 、指揮隊1隊（2名）、消火隊（2名）、支援隊（3名）出動する。
- 6月29日～ 胆振東部消防組合議会道内行政視察研修を実施する。
- 7月1日 視察地：桧山広域行政組合、函館市消防本部、西胆振消防組合
- 7月10日 消防職・団員親善スポーツ大会が安平町で開催された。（パークゴルフ）
 （安平消防チーム優勝）
- 7月28日 消防本部の指揮広報車1台を更新する。
- 10月6日 道東自動車道夕張・占冠間開通事故対策訓練を道東道大夕張トンネルで実施す
 る。
- 10月18日 胆振東部消防組合団長会道外視察研修を実施する。（中川消防長同行）
 視察地：神奈川県足柄足柄消防組合、東京都消防博物館
 （横浜市消防訓練センターでの第20回全国女性消防操法大会視察）
- 10月20日 第20回全国女性消防操法大会に鶴川女性消防隊（鶴川消防団女性消防団員）が
 出場する。
- 10月19日
- 11月1日 厚真支署の消防用ホース20本を更新する。（石油交付金事業）
- 11月3日 元鶴川消防団団長の佐藤延宏氏が秋の叙勲（瑞宝双光章）を授章された。
- 11月3日 元穂別消防団副団長の五十嵐秀夫氏が秋の叙勲（瑞宝単光章）を授章された。
- 11月10日 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金創設される。
 平成24年度 穂別支署（水槽付消防ポンプ自動車）
- 11月21日 厚真支署の背負式消火水のう18式を更新する。（石油交付金事業）

- 12月19日 厚真支署の空気呼吸器用ボンベ14本を更新する。(石油交付金事業)
- 12月22日 鶴川消防団第三分団詰所が新築される。(むかわ町宮戸1088番地1 木造平屋
109.30㎡)

国内の主な事故・災害

- 3月11日 14時46分頃、三陸沖を震源とする国内観測史上最大のM9.0の東北地方太平洋沖地震及び地震に伴う津波により多数の死傷者及び家屋への被害が発生した。日本全域の沿岸に大津波警報、津波警報、津波注意報が発令された。(3月11日～12月31日までの間、日本国内で発生した震度4以上の地震は302回を数え、そのうち震度5以上は72回を計測した。)
- 3月12日 東北地方太平洋沖地震の影響で東京電力福島第1原発1号機の「炉心溶融」発生により放射性物質漏れが発生した。
- 4月7日 東北地方太平洋沖地震の余震と見られるM7.1の地震が発生し、宮城県栗原市・仙台市においても死者6人、重軽傷者230人の被害が出る。
- 4月18日 栃木県鹿沼市にて集団登校中の小学生の列に、走行中の大型クレーン車が突っ込み小学生6名が死亡する事故が発生する。
- 5月27日 JR北海道石勝線占冠新夕張間の第1ニニウトンネル内で釧路発札幌行きの特急「おおぞら14号」から出火し死者なし、負傷者39名が発生した。
- 7月28日 北海道の航空大学校帯広分校の4人が乗った訓練機が十勝管内芽室町内の山中に墜落し、死亡3名、負傷者1名が発生した。
- 8月30日 台風12号による豪雨は紀伊半島を中心に最高1,800mmを超える雨量となり、奈良県・和歌山県において洪水・土砂崩れが相次ぎ、全国で死者・行方不明者93名となった。また、山間部での土砂崩れは土砂ダムをつくり、特に危険な土砂ダム5カ所の決壊は土石流の発生により更に被害を大きいものであった。
- 9月4日 台風15号による豪雨は、九州・四国・中部及び関東までの経路となり、特に宮崎県においては、1,100mmを超える雨量となり、各地に洪水・土砂崩れにより、全国で死者・行方不明者15名となった。また、台風12号で被害を受けた紀伊半島の土砂ダムの更なる危険が及んでいた。

平成24年

- 2月20日 安平支署の高規格救急自動車1台を更新する。(石油交付金事業)
- 3月2日 鶴川支署の水槽付消防ポンプ自動車1台を更新する。(石油交付金事業)
- 3月31日 消防本部奥田 進総務課長・安平支署大島 明支署長が定年退職する。厚真消防団藏重豊一団長が退団された。
- 4月1日 消防本部藤原 一総務課長・安平支署蘇武光昌支署長が就任する。新職員2名を採用する。(実員106名)厚真消防団団長に木村幸一氏が就任された。
- 4月25日 全道消防職員意見発表大会に職員2名が出場する。
- 4月27日 第1回議会臨時会において、消防救急デジタル無線整備事業が承認される。
- 4月29日 元安平消防団副団長の眞鍋高一氏が春の叙勲(瑞宝双光章)を授章された。

2012年

- 元消防本部次長の目黒 勇氏が危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を授章された。
- 6月10日 道東自動車道（むかわ町穂別）で発生した事故により、車両火災が発生し、男性1名が焼死した。
- 6月27日 胆振地方消防訓練大会が白老町にて開催される。
（ポンプ車の部 優勝：穂別消防団 準優勝：洞爺湖消防団）
（小型ポンプの部 優勝：壮警消防団 準優勝：室蘭市消防団B）
- 7月13日 宮坂尚市朗氏が厚真町長に当選し、管理者に再任される。
- 7月15日 消防職・団員親善スポーツ大会（ソフトボール）がむかわ町鶴川地区で開催される。（鶴川消防チーム優勝）
- 8月25日 17時13分地方南部を震源とする地震により震度4を観測し、警戒に当たるが、幸いに被害は無かった。
- 8月28日 第2回議会定例会開催、火災予防条例の一部改正が承認される。
- 9月 1日 古川元三氏が厚真町副町長を任期満了の退任に伴い副管理者を退任する。
- 9月 7日 第64回北海道消防大会にて鶴川消防団女性団員が事例発表を行う。
- 9月14日 近藤泰行氏（厚真町副町長）が副管理者に選任される。
- 9月28日 鶴川支署に空気呼吸器用ボンベ6本を整備する。
- 10月 1日 新職員2名を採用する。（実員108名）
- 10月22日 監査委員（識見を有する者）に高田耕示氏が就任される。
- 11月 3日 元鶴川消防団分団長の林 均氏が秋の叙勲（瑞宝単光章）を授章された。
元消防本部消防長の平野 正氏が危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）を授章された。
- 11月10日 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金創設される。
（平成25年度 安平支署追分出張所（高規格救急自動車整備）
- 11月26日 安平支署追分出張所のモーターサイレン1式を更新する。（石油交付金事業）
- 12月 7日 17時13分三陸沖を震源とする地震により震度4を観測し警戒に当たるが、幸いにして被害は無かった。
- 12月11日 安平支署に空気呼吸器13式を整備する。（石油交付金事業）
- 12月19日 厚真支署に消防用ホース20本を整備する。（石油交付金事業）
- 12月20日 厚真支署に空気呼吸器用ボンベ8本を整備する。（石油交付金事業）

国内の主な事故・災害

- 2月 7日 岡山県JX水島製油所海底トンネル掘削現場の落盤事故により 5名が死亡した。
- 4月 3日 西日本から北日本にかけて急発達した低気圧による暴風雨により和歌山県和歌山市で最大風速32.2M/S、新潟県佐渡市で瞬間最大風速43.2M/Sを記録し、5名が死亡し約350人が負傷した。
- 4月29日 群馬県関越自動車道で高速バス居眠り運転事故により 7名が死亡し39人が負傷した。
- 4月22日 山口県三井化学岩国大竹工場の爆発事故で 1名が死者し22名が負傷した。
- 5月13日 広島県福井市の福山ホテル火災により 7名が死亡し 3名が負傷した。
- 5月24日 新潟県魚沼市の八箇峠トンネル内の爆発事故により 4名が死亡し 3名が負傷した。

した。

- 7月11日 熊本・大分・福岡で活発な梅雨前線による集中豪雨で熊本県阿蘇市で816.5mmの最多雨量を観測し、同地区で108mmの最多時間雨量を観測した。
- 7月14日 この集中豪雨により26名が死亡し 6名が負傷した。
- 9月29日 兵庫県姫路市日本触媒姫路製造所の火災爆発事故により消防職員 1名が死亡し消防職員・警察官を含む30名が負傷した。
- 12月 2日 山梨県笹子トンネル内の天井版落下事故により 9名が死亡し 2名が負傷した

平成25年

2013年

- 1月21日 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金創設される。
(平成26年度 鶴川支署 消防救急デジタル無線(活動波)整備)
- 2月20日 穂別支署の水槽付消防ポンプ自動車1台を更新する。(石油交付金事業)
- 3月 7日 穂別消防団が消防庁長官より表彰旗を授与された。
- 3月27日 厚真支署上厚真分遣所の水槽付消防ポンプ自動車1台を更新する。
(石油交付金事業)
- 3月31日 消防本部中川信二消防長・追分出張所岩佐 弘所長・厚真支署吉村正弘支署長・鶴川支署松並政一支署長他3名が定年退職する。
- 4月 1日 消防本部五十嵐三雄消防長・消防本部藤原 一次長・追分出張所沼尾和彦所長・厚真支署鳥井勝美支署長・鶴川支署田村 智支署長が就任する。
新職員5名を採用する。(実員106名)
鶴川消防団前田嗣夫団長が再任される。
消防救急デジタル無線(統制波)の運用を開始する。
- 4月25日 全道消防職員意見発表大会に職員1名が出場する。
- 4月29日 元早来支署長加賀勝男氏が危険業務従事者叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
- 5月28日 第1回議会臨時会開催、職員の臨時特例に関する条例の制定が承認される。
- 8月23日 第65回北海道消防大会にて穂別消防団山崎正昭団長が北海道消防協会より栄光章を受章された。
- 10月 1日 新職員2名を採用する。(実員108名)
- 10月11日 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練が苫小牧市で開催され、組合から特殊災害隊1隊4名が参加する。
(各消防本部、各関係機関から合計246隊933名が参加)
- 10月12日
- 11月 3日 元鶴川消防団副団長の辻野寛治氏が秋の叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
元穂別支署長の宇野和輝氏が危険業務従事者叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
- 11月 7日 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金創設される。
(平成26年度 鶴川支署 消防救急デジタル無線(活動波)整備)
- 11月13日 むかわ町生田地区に防火水槽1基を整備する。(一般財源)
- 11月18日 穂別支署庁舎のモーターサイレン1式を更新する。(石油交付金事業)
- 11月24日 胆振東部消防組合団長会道外視察研修を実施する。(山崎署長同行)
(視察地:岩手県 東日本大震災被災地視察)
- 11月26日 (消防団120年・自治体消防65周年記念大会出席(東京ドーム))

- 12月 9日 厚真支署に消防用ホース44本を整備する。(石油交付金事業)
穂別支署に消防用ホース10本を整備する。(石油交付金事業)
厚真支署に救急活動資器材1式を整備する。(石油交付金事業)
- 12月11日 厚真支署上厚真分遣所のモーターサイレン1式を更新する。(石油交付金事業)
穂別支署に空気呼吸器用ボンベ5本を整備する。(石油交付金事業)
- 12月26日 第3回議会定例会開催、消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定・職員の給与に関する条例の一部改正・職員の再任用に関する条例の制定・職員の再任用に関する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定・石油貯蔵施設立地対策等交付金基金条例の一部改正・火災予防条例の一部改正が承認される。

国内の主な事故・災害

- 2月 8日 長崎県長崎市のグループホーム火災により 4名が死亡し 8人が負傷した。
- 2月10日 新潟県新潟市の障害福祉施設火災により 1名が死亡し 5名が負傷した。
- 3月 2日 北海道道東で発達した低気圧の影響で猛吹雪となり、中標津町などで車が立ち往生するなど 9名が死亡した。
- 3月11日 岩手県大船渡市の住宅火災により 4名が死亡した。
- 5月17日 北海道稚内市のカニ運搬船火災により 6名が死亡し 3名が負傷した。
- 7月28日 朝鮮半島の停滞前線により島根県及び山口県に大雨被害が発生し 2名が死亡 2名が行方不明、11名が負傷した。
- 8月18日 京都府福知山市花火大会火災により 3名が死亡し56名が負傷した。
- 8月23日 西日本から東日本に伸びる前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み大気の状態が非常に不安定になったため、東日本の日本海側と西日本を中心に記録的な大雨となり 2名が死亡し 4人が負傷した。
- 8月26日 鹿児島県指宿市付近に上陸した台風17号により西日本から北日本の広い範囲で激しい雨が降り 2名が死亡し14名が負傷した。
- 9月13日 小笠原諸島近海で発生した台風18号により福井県、滋賀県、京都府で記録的な大雨となり 6名が死亡、 2名が行方不明、143名が負傷した。
- 10月11日 福岡県福岡市の整形外科病院の火災により10名が死亡し 5名が負傷した。
- 10月16日 関東沿岸に接近した台風26号により西日本から北日本の広い範囲で大雨、暴風となり、特に東京都大島町で猛烈な雨が降り続き土砂崩れが発生した。(死者35名、行方不明者 4名、負傷者22名) 全国で39名が死亡、 4名が行方不明、130名が負傷した。
- 11月15日 千葉県野田市の工場火災により 2名が死亡し15名が負傷した。

平成26年

2014年

- 2月18日 穂別支署の高規格救急自動車1台を更新する。(石油交付金事業)
- 2月25日 安平支署追分出張所の高規格救急自動車1台を更新する。(石油交付金事業)
- 3月 5日 厚真支署に空気呼吸器用ボンベ14本を整備する。(石油交付金事業)
- 3月25日 第1回議会定例会開催、手数料条例の一部改正が承認される。
- 3月26日 安平消防団上田 陽団長が退団された。

- 3月27日 安平消防団団長に井上一雄氏が就任された。
- 3月31日 消防本部五十嵐三雄消防長・消防署山崎 豊署長・追分出張所沼尾和彦所長・厚真支署鳥井勝美支署長・鷗川支署田村 智支署長・穂別支署猪狩利春支署長他1名が定年退職する。
- 4月 1日 消防本部藤原 一消防長・消防本部宮坂賢一企画管理課長・消防本部松永忠昭防災課長・消防本部立石恵輝総務課長・追分出張所岡田 悟所長・厚真支署齊藤茂揮支署長・鷗川支署粒来裕人支署長・穂別支署長谷部 進支署長が就任する。
新職員5名を採用する。(実員106名)
- 4月11日 消防本部にパーソナルコンピューター6式を整備する。(一般事業)
- 4月29日 元安平消防団分団長の漆坂與作氏が春の叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
元消防本部消防長の尾谷常夫氏が危険業務従事者叙勲(瑞宝双光章)を授章された。
- 5月20日 議会副議長に山崎満敬氏、議員監査委員に高山正人氏が選任された。
- 7月19日 第43回全道消防救助技術指導会が札幌市で開催され、ほふく救出の部で鷗川支署チームが北海道代表となる。(第43回全国消防救助技術大会災害の為中止)
- 7月29日 胆振東部消防組合団長会道内視察研修を実施する。
(藤原消防長・横井課長補佐同行)
- 7月31日 視察地：岩内寿都消防組合・(公財)北海道消防協会
- 8月18日 鷗川支署にビデオ硬性挿管用喉頭鏡1式を整備する。(一般事業)
- 9月25日 鷗川支署に小型動力消防ポンプ1式を整備する。(一般事業)
- 10月 8日 安平支署に救命ボート用船外機1式を整備する。(一般事業)
- 10月 9日 厚真支署暖房用ボイラー改修工事を完了する。(一般事業)
- 10月23日 安平支署追分出張所暖房用ファンコンベクター取替修繕を完了する。(一般事業)
- 11月 3日 元安平消防団副分団長の内海光至氏が秋の叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
元消防本部消防長の渡邊 勲氏が危険業務従事者叙勲(瑞宝双光章)を授章された。
- 11月 4日 厚真支署に災害出動用デジタルトランシーバー10式を整備する。(石油交付金事業)
厚真支署に消防用ホース40本を整備する。(石油交付金事業)
穂別支署に消防用ホース20本を整備する。(石油交付金事業)
- 11月 6日 厚真支署上厚真分遣所泡消火薬剤貯蔵施設改修工事を完了する。(石油交付金事業)
- 11月12日 安平町遠浅地区にて竜巻が発生し、窓ガラスが割れるなど建物9軒に被害があり、1世帯2名が避難した。
- 11月28日 第2回臨時議会開催、職員の給与に関する条例の一部改正が承認される。
- 12月 4日 安平支署庁舎にモーターサイレン1式を整備する。(石油交付金事業)
- 12月 4日 穂別支署の指揮広報車1台を更新する。(一般事業)
- 12月 8日 穂別支署に空気呼吸器用ボンベ10本を整備する。(石油交付金事業)
鷗川支署に消防用ホース15本を整備する。(一般事業)
- 12月 9日 鷗川消防団に消防団員用防火衣24式を整備する。(一般事業)

- 12月10日 安平支署追分出張所の指揮広報車1台を更新する。(石油交付金事業)
- 12月11日 穂別支署の指揮広報車1台を更新する。(石油交付金事業)
- 12月15日 安平消防団追分分団に消防団員用防火衣42式を整備する。(石油交付金事業)
- 12月22日 鶴川消防団の消防ポンプ自動車1台を更新する。(一般事業)
- 12月29日 穂別支署境界擁壁改修工事を完了する。(一般事業)

国内の主な事故・災害

- 1月 9日 三重県四日市市の工場爆発事故により 5人が死亡し12人が負傷した。
- 1月15日 東京都港区のマンション地下駐車場の建設現場で鉄板が落下し 2人が死亡した。
- 2月 8日 関東・甲信地方を中心に記録的な大雪により、5人が死亡し628人が負傷した。
- 2月14日 関東・甲信地方を中心に再び記録的な大雪により、東京電力管内で24万件以上の世帯が停電となり17日にかけて各交通機関に影響した。
- 3月 3日 富山県北陸自動車道で高速バスと大型トラックの事故により、2人が死亡し25人が負傷した。
- 3月30日 沖の鳥島で建設中の栈橋が転倒し 7人が死亡した。
- 5月 5日 伊豆大島近海を震源とする地震が発生し、東京都千代田区で震度 5弱を記録するが幸い被害は無かった。
- 5月13日 東京都町田市の作業所火災により 8人が負傷した。
- 7月 9日 長野県南木曾町の木曾川支流にて土石流が発生し、1人が死亡した。
- 8月20日 広島市北部で大規模な土砂災害が発生し、74人が死亡した。
- 8月24日 北海道礼文町で土砂災害が発生し、住宅 1棟が全壊し、2人が死亡した。
- 9月27日 長野県と岐阜県の御嶽山が 7年ぶりに噴火、57人が死亡、6人が行方不明、69人が負傷者した。
- 11月22日 長野県北部を震源とする地震が発生し、長野市等で震度 6弱を記録するが幸い被害は無かった。

平成27年

2015年

- 1月 1日 22時57分、苫小牧沖を震源とする地震により震度4を観測し警戒に当たる。この地震によりむかわ町で女性1人が転倒し救急搬送される。
- 1月28日 厚真消防団の消防ポンプ自動車1台を更新する。(石油交付金事業)
- 2月18日 鶴川地区の消防救急デジタル無線(活動波)を整備する。(石油交付金事業)
- 2月20日 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金創設される。
(平成27年度安平支署追分出張所、消防ポンプ自動車整備)
- 2月20日 厚真地区の消防救急デジタル無線(活動波)を整備する。(緊急防災・減災事業)
厚真支署に移動無線中継車を整備する。(緊急防災・減災事業)
- 3月 6日 厚真消防団が消防庁長官より表彰旗を授与された。
- 3月24日 第1回議会定例会開催、職員の給与に関する条例の一部改正が承認される。
安平地区の消防救急デジタル無線(活動波)を整備する。(周波数有効促進事業)

- 3月31日 安平支署蘇武光昌支署長・追分出張所岡田 悟所長が定年退職する。
- 4月 1日 消防署宮坂賢一署長・安平支署福田正幸支署長・追分出張所三宅文秀所長が就任する。
新職員 2 名を採用する。（実員106名）
監査委員（識見を有する者）に佐藤公博氏が就任された。
- 4月24日 全道消防職員意見発表大会に職員 1 名が出場する。
- 4月29日 元厚真支署長宮本弘光氏が危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）を授章された。
- 4月30日 職員 1 名が依願退職する。（実員105名）
- 5月 1日 安平町内有線 1 1 9 番受信を安平支署に一元化する。
- 5月21日 議会議長に井上次男氏が選任される。
- 7月 6日 穂別消防団山崎正昭団長が消防功労者総務大臣表彰を授章された。
- 7月 8日 胆振地方消防訓練大会が室蘭市にて開催される。
（ポンプ車の部 優勝：厚真消防団 準優勝：壮警消防団）
（小型ポンプの部 優勝：鶴川消防団 準優勝：壮警消防団）
- 7月18日 北海道消防操法大会に鶴川消防団が小型ポンプの部に出場し、優良賞を受賞した。
- 7月31日 苫小牧沖でフェリー火災が発生し、警戒のため出動する。
- 8月 1日 元穂別消防団分団長の菅原昭二氏が高齢者叙勲（瑞宝単光章）を授章された。
- 9月30日 胆振東部消防組合議会議員道内行政視察研修を実施。
（宮坂事務局長同行）
- 10月 2日 視察地：日高東部消防組合・釧路東部消防組合
- 10月 1日 新職員 1 名を採用する。（実員106名）
- 10月13日 消防本部指令車庫建設工事を完了する。（一般事業）
- 10月30日 穂別消防団第二分団詰所に夜間照明器具 1 式を整備する。（コミュニティ助成事業）
- 11月 3日 元厚真消防団団長の藏重豊一氏が秋の叙勲（瑞宝単光章）を授章された。
元鶴川消防団分団長の久保田建一氏が秋の叙勲（瑞宝単光章）を授章された。
元厚真支署長の嶋 力男氏が危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）を授章された。
- 11月16日 上厚真分遣所庁舎暖房・給湯用ボイラー改修工事が完了する。（一般事業）
- 12月 4日 安平支署に災害現場用署活動型携帯無線機 1 式を整備する。（石油交付金事業）
- 12月14日 鶴川支署に消防救急デジタル無線携帯型移動局無線機17式を整備する。（石油交付金事業）
穂別支署に消防救急デジタル無線携帯型移動局無線機15式を整備する。（石油交付金事業）
- 12月15日 厚真支署に緊急通報受信装置 1 式を整備する。（石油交付金事業）
厚真支署上厚真分遣所に消防用ホース40本を整備する。（石油交付金事業）
鶴川支署に空気呼吸器用ボンベ10本を整備する。（一般事業）
鶴川支署に消防用ホース15本を整備する。（一般事業）
- 12月15日 鶴川消防団に消防団員用防火衣24式を整備する。（一般事業）
穂別支署に空気呼吸器用ボンベ 5 本を整備する。（一般事業）

12月22日 穂別支署消防庁舎耐震改修工事を完了する。(緊急防災・減災事業)

国内の主な事故・災害

- 2月 6日 徳島県南部で地震が発生し、近畿・中四国地方で震度 5強を記録する。
- 2月17日 岩手県沖で地震が発生し、青森県で震度 5強を記録する。
- 4月26日 北海道苫小牧市の鉄骨 2階建て工場から出火。工場 1棟が全焼し、4名が死亡した。
- 5月13日 宮城県沖で地震が発生し、岩手県で震度 5強を記録する。
- 5月17日 川崎市川崎区の木造 3階建て簡易宿泊所から出火。隣接する簡易宿泊所の 2棟を全焼し、5名が死亡、19名が重軽傷を負った。
- 5月29日 鹿児島県口之永良部島新岳が噴火し気象庁が警戒に当たる。
- 5月30日 小笠原諸島西方沖で地震が発生し、東京都と神奈川県で震度 5強を記録し、負傷者が出るなどの被害が発生した。
- 6月16日 群馬、長野両県境の浅間山で小規模な噴火が有り気象庁が警戒に当たる。
- 7月13日 大分県南部で地震が発生し、佐伯市で震度 5強を記録する。
- 7月26日 東京都調布飛行場を離陸した軽飛行機が住宅地に墜落し、2名が死亡、5名が負傷した。
- 7月31日 苫小牧市の沖合でフェリー火災が発生し、乗員乗客合わせて94人が乗っていたが93名が近くを航行していた民間のフェリーなどにより救助されたが、乗員1名が死亡した。
- 9月 7日 台風第18号及び台風から変わった低気圧の影響により、西日本から北日本にかけて広い範囲で大雨となり、特に関東地方と東北地方では記録的な大雨となり
- 9月11日 茨城県鬼怒川の堤防が決壊するなど 8名が死亡、79名が負傷した。
- 9月14日 熊本県の阿蘇山中岳が噴火し気象庁が警戒に当たる。
- 10月 8日 広島県広島市の雑居ビルから出火。隣のビルの 2棟を全焼し、3名が死亡、1名が重体、2名が重傷を負った。
- 12月18日 千葉県船橋市のスクラップ置き場から出火。鉄やアルミなど、約3,500トン焼失し30時間後に鎮火した。

平成28年

2016年

- 1月26日 安平消防団の消防ポンプ自動車 1台を更新する。(石油交付金事業)
- 3月 9日 鵜川消防団が消防庁長官より表彰旗を授与された。
- 3月22日 鵜川支署消防庁舎耐震改修工事を完了する。(緊急防災・減災事業)
穂別地区の消防救急デジタル無線(活動波)を整備する。(周波数有効促進事業)
- 3月23日 第1回議会定例会開催、消防団員の定員、任免、報酬、服務等に関する条例の一部改正・職員の分限に関する手続き及び効果に関する条例の一部改正・職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正・職員の給与に関する条例等の一部改正・火災予防条例の一部改正が承認される。
- 3月31日 安平支署福田正幸支署長が定年退職する。

- 3月31日 厚真消防団木村幸一浩一団長が退団された。
- 4月 1日 安平支署三宅文秀支署長・追分出張所立浪修次所長が就任する。
厚真支署職員1名を増員する。(上厚真分遣所長、日勤配置)
新職員2名を採用する。(実員107名)
厚真消防団団長に五十嵐次男氏が就任された。
鵠川消防団女性分団を設立する。
(三上裕紀子分団長以下15名、定員115名、5分団組織となる。)
妊婦事前登録制度「ママ・サポート119」の運用を開始する。
消防救急デジタル無線(活動波)の運用を開始する。
- 4月29日 元安平消防団団長の上田 陽氏が春の叙勲(瑞宝双光章)を授章された。
元安平支署長の大崎繁晴氏が危険業務従事者叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
- 6月30日 穂別消防団山崎正昭団長が退団する。
- 7月 1日 穂別消防団長に清川三十四氏が就任する。
- 7月22日 消防用アナログ無線中継局撤去工事を完了する。(一般事業)
- 8月30日 第2回議会定例会開催、公告式条例の一部改正が承認される。
- 9月 1日 厚真支署庁舎アナログ空中線撤去工事を完了する。(一般事業)
- 9月13日 鵠川消防団に防火衣15式を整備する。(一般事業)
- 10月11日 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練が秋田県能代市で開催され、組合
～14日 から救急隊1隊3名が参加する。
- 10月24日 厚真支署に救急救命士拡大行為対応穿刺訓練器具を整備する。(石油交付金事業)
- 11月 1日 追分出張所寺島博一所長が就任する。
- 11月 3日 元安平消防団副団長の木村茂雄氏が秋の叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
元消防本部総務課長の奥田 進氏が危険業務従事者叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
- 11月11日 むかわ町汐見地区に防火水槽1基を整備する。(一般事業)
- 11月14日 安平消防団に消防団員用携帯型デジタルトランシーバー24式を整備する。(石油交付金事業)
- 11月16日 厚真支署に複合型ガス検知器1式を整備する。(石油交付金事業)
- 11月28日 安平支署に消防用ホース120本を整備する。(石油交付金事業)
厚真支署に消防用ホース40本を整備する。(石油交付金事業)
穂別支署に消防用ホース10本を整備する。(石油交付金事業)
- 12月 8日 鵠川支署に油圧救助器具1式を整備する。(石油交付金事業)
鵠川支署に消防用ホース15本を整備する。(一般事業)
- 12月12日 安平支署に消防団員搬送車1台を整備する。(石油交付金事業)
- 12月13日 厚真支署に気象情報収集装置1式を整備する。(石油交付金事業)
- 12月14日 安平支署に空気呼吸器用ボンベ4本を整備する。(石油交付金事業)
鵠川支署に空気呼吸器用ボンベ6本を整備する。(一般事業)
穂別支署に資機材搬送車1台を整備する。(石油交付金事業)
穂別支署に空気呼吸器用ボンベ5本を整備する。(石油交付金事業)
- 12月15日 安平消防団に防火衣87着を整備する。(石油交付金事業)

- 12月15日 厚真支署に防火服1式を整備する。(石油交付金事業)
- 12月22日 第3回議会定例会開催、職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正が承認される。
- 12月27日 穂別支署消防庁舎境界擁壁改修工事を完了する。(一般事業)
- 12月31日 組合議会 長谷川建夫議員が辞職する。

国内の主な事故・災害

- 1月14日 北海道浦河沖で地震が発生し、北海道で震度 5弱を記録する。
- 1月15日 長野県軽井沢町で大型観光バス横転事故が発生し、15名が死亡、26名が重軽傷を負った。
- 2月 5日 鹿児島県桜島が噴火し気象庁が警戒に当たる。
- 3月 7日 広島県山陽自動車道八本松トンネル内で車両 9台の衝突事故が発生、うち 5台が火災となり、2名が死亡、71名が重軽傷を負った。
- 4月14日 熊本県熊本地方で地震が発生、熊本県益城町で震度 7を記録し、178名が死亡、2,699名が重軽傷を負った。住宅8,388棟が全壊、32,689棟が半壊等の被害が出た。
- 5月27日 東京国際空港（羽田空港）で大韓航空機のエンジンから火煙が発生し、12名が負傷した。
- 6月16日 北海道南部の内浦湾で地震が発生し、北海道で震度 6弱を記録する。
- 6月20日 西日本から関東の南にかけて停滞する梅雨前線や低気圧の影響により西日本を中心に大雨となった。6名が死亡、1名が行方不明、10名が重軽傷を負った。
- 8月20日 台風 9号及び台風11号の影響により東日本と北日本では大雨となり静岡県で447mm、東京都で296mm、北海道で296mmに達し、北海道では平年の 8月の降水量の 2倍近い大雨となった。2名が死亡、82名が重軽傷を負った。
- 8月30日 台風10号の影響により岩手県で 1時間に80ミリの猛烈な雨となったほか、北海道で329mmの記録的な大雨となった。23名が死亡、4名が行方不明、14名が重軽傷を負った。
- 9月 6日 台風13号及び台風から変わった低気圧の影響により、兵庫県及び栃木県で 1時間80mmを超える猛烈な雨となったほか、全国各地で200mmを超える大雨となった。1名が死亡、2名が負傷した。
- 9月17日 台風16号と前線の影響により、鹿児島県で 1時間に115mmなど各地で猛烈な雨を記録した。1名が死亡、48名が重軽傷を負った。
- 10月21日 鳥取県中部で地震が発生し、鳥取県で震度 6弱を記録する。30名が負傷し、住宅15棟が全壊、232棟が半壊等の被害が出た。
- 11月22日 福島県沖で地震が発生し、福島県、茨城県、栃木県で震度 5弱を記録し、宮城県仙台港で1.4mの津波を観測した。
- 12月22日 新潟県糸魚川市の飲食店より出火。強風により広範囲に拡大し40,000㎡を焼失。全焼120棟を含む147棟が焼損し、消防団員を含む17名が負傷した。
- 12月28日 茨城県北部で地震が発生し、茨城県で震度 6弱を記録した。

平成29年

2017年

- 1月19日 鶴川支署にエアジャッキ1式を整備する。(一般事業)
- 2月1日 鶴川消防団に消防ポンプ自動車1台を整備する。(一般事業)
- 2月21日 安平支署に消防用ホース20本を整備する。(石油交付金事業)
- 2月28日 職員1名が依願退職する。(実員106名)
- 3月8日 厚真支署に消防用小型動力ポンプ1式を整備する。(石油交付金事業)
- 3月13日 組合議会議員に星 正臣氏が選任される。
- 3月16日 厚真支署に高規格救急自動車1台を整備する。(石油交付金事業)
- 3月23日 第1回議会定例会開催、職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正・職員の育児休業等に関する条例の一部改正が承認される。
- 3月31日 消防本部藤原 一消防長他1名が定年退職する。
- 4月1日 消防本部宮坂賢一消防長・消防署松永忠昭署長・消防本部齊藤茂揮企画管理課長・厚真支署海沼和三支署長が就任する。
新職員2名を採用する。(実員106名)
再任用職員1名を採用する。(実員107名)
鶴川消防団前田嗣夫団長が再任される。
- 4月29日 元安平消防団副団長の水橋呈一氏が春の叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
元消防本部消防長の中川信二氏が危険業務従事者叙勲(瑞宝双光章)を授章された。
- 7月1日 北海道胆振地方中東部で地震が発生、管内安平町で震度5弱、厚真町及びむかわ町で震度4を記録し、管内に警戒出動した。安平町で女性1名が負傷した。
- 7月14日 北海道消防操法大会に厚真消防団が小型ポンプ操法の部に出場した。
- 8月18日 厚真町幌内地区の防火水槽移転工事を完了する。(道路整備に伴う移転事業)
- 8月30日 第2回議会定例会開催、職員の育児休業等に関する条例の一部改正が承認される。
- 9月26日 穂別支署に半自動除細動器1式を整備する。(石油交付金事業)
穂別支署に非常用発電機1台を整備する。(石油交付金事業)
- 9月28日 鶴川支署にホイローダー1台を整備する。(一般事業)
- 9月29日 財務会計システム(公会計対応)1式を整備する。(一般事業)
- 10月1日 新職員1名を採用する。(実員108名)
- 10月26日 上厚真分遣所消防庁舎東面外壁改修工事を完了する。(一般事業)
- 11月3日 元厚真消防団団長の木村幸一氏が秋の叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
元消防本部消防長の五十嵐三雄氏が危険業務従事者叙勲(瑞宝双光章)を授章された。
- 11月24日 厚真支署に消防団員搬送車1台を整備する。(石油交付金事業)
- 11月28日 上厚真分遣所車庫暖房改修工事を完了する。(一般事業)
- 11月30日 厚真町上厚真地区の防火水槽移転工事を完了する。(道路整備に伴う移転事業)
- 12月6日 厚真支署に消防用ホース40本を整備する。(石油交付金事業)
- 12月11日 強い低気圧の影響により、むかわ町中心部で突風が発生し警戒出動した。人的被害は無く、民家5軒のトタン屋根が飛ばされるなど16件の被害が出た。
安平支署に空気呼吸器用ボンベ4本を整備する。(石油交付金事業)

- 12月11日 鵠川支署に空気呼吸器 1 式を整備する。(石油交付金事業)
- 鵠川支署に消防用ホース20本を整備する。(石油交付金事業)
- 穂別支署に空気呼吸器用ボンベ6本を整備する。(石油交付金事業)
- 穂別支署に背負い式消火水のう25台を整備する。(石油交付金事業)
- 12月13日 消防本部に指揮広報車 1 台を整備する。(一般事業)
- 12月15日 厚真消防団に防火衣45着を整備する。(石油交付金事業)
- 穂別消防団第四分団詰所屋根・外壁塗装工事を完了する。(一般事業)
- 12月26日 第 3 回議会定例会開催、職員の給与に関する条例の一部改正が承認される。

国内の主な事故・災害

- 1月11日 東北地方から西日本の日本海側を中心に大雪となり、多いところで100cmの
～16日 降雪が有り、広島市、京都市でも15cmの降雪となった。この降雪で、6名が死亡、119名が負傷した。
- 2月 9日 西日本を中心に強い冬型の気圧配置が続き累積降雪量が100cmを超えるなど
～12日 中国地方、近畿地方の日本側を中心に大雪となった。5名が死亡、61名が負傷した。
- 2月28日 福島県沖で地震が発生し、宮城県岩沼市及び福島県相馬市他で震度 5弱を記録した。
- 3月 5日 長野県消防防災ヘリコプターが訓練フライト中、長野県山中に墜落し、消防職員 7名を含む搭乗者 9名全員が死亡した。
- 3月27日 栃木県那須町のスキー場付近で雪崩が発生し、8名が死亡、40名が負傷した。
- 6月20日 大分県豊後水道で地震が発生し、大分県佐伯市で震度 5強を記録した。
- 6月25日 長野県南部で地震が発生し、長野県大滝村、木曾町で震度 5強を記録した。
- 6月30日 梅雨前線と台風 3号の影響により九州北部地方を中心に局地的に猛烈な雨が降り大雨となった。各地で河川の氾濫及び土砂災害により 39名が死亡し、4
7月 6日 名が行方不明、35名が負傷した。住宅309棟が全壊、1, 103棟が半壊した。
- 7月 1日 北海道胆振地方中東部で地震が発生し、管内安平町で震度 5弱を厚真町及びむかわ町でも震度 4を記録した。1名が負傷した。
- 7月 2日 熊本県阿蘇地方で地震が発生し、熊本県産山村で震度 5弱を記録した。
- 7月11日 鹿児島湾で地震が発生し、鹿児島県鹿児島市で震度 5強、指宿市、南九州市で震度 5弱を記録した。1名が負傷した。
- 7月22日 停滞する前線の影響により東北地方及び北陸地方で、大雨となり秋田県では
～25日 348mmを記録した。人的被害は無く、住宅 3棟が全壊、44棟が半壊した。
- 8月 7日 台風 5号の影響により西日本や東日本の広い範囲で大雨となった。鹿児島県奄美市で407mm、石川県で254mm、滋賀県で232mmに達し、2名が死亡、51名が負傷した。
- 8月18日 岐阜県端浪市において発生した土砂災害により、中央自動車道を走行中の車両 4台が巻き込まれ、重傷者 2名を含む 6名が負傷した。
- 9月 8日 秋田県内陸南部で地震が発生し、秋田県大仙市で震度 5強を記録した。人的被害は無く、住宅 4棟に被害が出た。
- 9月13日 台風18号及び活発な前線の影響により西日本から北日本にかけて 1時間に大

- ～18日 分県佐伯市で89.5mm、北海道大樹町で85mmを観測するなど猛烈な雨となった。宮崎県で567mm、東京都で277mmを観測した。5名が死亡し、59名が負傷した。住宅 3棟が全壊、11棟が半壊した。
- 10月 6日 福島県沖で地震が発生し、福島県楡葉町、川内村で震度 5弱を記録し、1名が負傷した。
- 10月11日 霧島山（新燃岳）で噴火し気象庁が警戒に当たる。
- 10月21日 台風21号及び停滞した前線の影響により、西日本から東日本、東北地方の広い範囲で大雨となった。和歌山県新宮市で888mm、三重県伊勢市で539mmを観測するなど近畿地方や東海地方を中心に500mmを超える記録的な大雨となった。8名が死亡し、215名が負傷した。住宅 5棟が全壊、15棟が半壊した。
- 10月28日 台風22号の影響により西日本から東日本にかけての太平洋側を中心に大雨となった。宮崎県宮崎市で484mm、日南市で457mm、鹿児島県肝属郡で324mmを観測した。18名が負傷し、住宅 4棟が全壊した。
- ～30日
- 11月 8日 群馬県で民間のヘリコプターが墜落炎上し搭乗者 4名が死亡した。

平成30年

2018年

- 1月29日 穂別消防団に消防ポンプ自動車1台を整備する。（石油交付金事業）
- 2月20日 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金創設される。
（平成31年度 厚真支署 救助工作車整備）
穂別支署に背負い式消火水のう5台を整備する。（石油交付金事業）
- 3月 5日 安平支署に水槽付消防ポンプ自動車1台を整備する。（石油交付金事業）
- 3月 9日 むかわ町穂別地区において大雨と雪解け水により小河川が増水し、床下浸水 4棟の被害が出る。
- 3月26日 第1回議会定例会開催、手数料条例の一部改正が承認される。
- 3月31日 安平支署三宅文秀支署長・鶴川支署粒来裕人支署長他1名が定年退職する。
職員2名が依願退職する。（実員103人）
- 4月 1日 安平支署寺島博一支署長・安平支署追分出張所小笠原規人出張・鶴川支署斉藤実支署長が就任する。
新職員5名を採用する。（実員108名）
安平消防団井上一雄団長が再任される。
- 4月29日 元厚真消防団副分団長の保田政彰氏が春の叙勲（瑞宝単光章）を授章された。
元消防署署長山崎 豊氏が危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を授章された。
- 5月24日 議会副議長に山崎満敬氏、議員監査委員に梅森敬仁氏が選任された。
- 7月 1日 元穂別消防団副団長の瀧川満夫氏が高齢者叙勲（瑞宝単光章）を授章された。
- 8月29日 第2回議会定例会が開催される。
- 9月 5日 台風21号に伴う強風による警戒に当たる。人的被害は無かった。
- 9月 6日 北海道胆振地方中東部を震源とするM6.7の地震が発生し、組合管内厚真町で震度7、安平町及びむかわ町で震度6強を観測した。
この地震により組合管内各地で土砂崩れが発生し、厚真町吉野地区、幌内地区、朝日地区などで複数の家屋が倒壊し、多くの安否不明者が発生した。

また、組合管内各地で住宅の倒壊など甚大な被害が出た。

地震発生時より災害対策本部を設置し、土砂崩れによる安否不明者の捜索活動を不眠不休で関係機関と9月10日まで行い、10月12日に解散した。

北海道広域消防応援隊は、10月12日の災害対策本部解散まで延べ415隊1,537名の受援を受ける

緊急消防援助隊は、9月10日の全ての安否不明者発見まで延べ593隊2,268名の受援を受ける。

組合管内、死者37名（厚真町36名、むかわ町1名）負傷者325名（安平町12名、厚真町61名、むかわ町252名）住宅全壊345戸（安平町93戸、厚真町222戸、むかわ町30戸）半壊779戸（安平町351戸、厚真町308戸、むかわ町119戸）などの被害が出た。（北海道総務部H31.1.16現在調べ）

- 9月20日 追分出張所消防庁舎耐震診断を完了する。（社会資本交付金事業）
- 9月28日 穂別支署に非常用発電機3台を整備する。（石油交付金事業）
- 9月30日 台風24号に伴い厚真町タイムラインに基づき厚真消防団延べ27名が住民への周知及び避難誘導にあたる。
- 10月 7日 台風25号に伴い厚真町タイムラインに基づき厚真消防団延べ26名が住民への周知及び避難誘導にあたる。
- 11月 3日 元厚真消防団副団長の岡部 純氏が秋の叙勲（瑞宝単光章）を授章された。
元鵠川支署長水上範夫氏が危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）を授章された。
- 11月 5日 鵠川支署消防庁舎災害損傷調査を完了する。（一般事業）
穂別支署に背負い式消火水のう20台を整備する。（石油交付金事業）
穂別支署に小型動力ポンプ1台を整備する。（石油交付金事業）
- 11月30日 鵠川支署に消防用ホース20本を整備する。（一般事業）
- 12月 1日 元鵠川消防団副団長の吉岡 廣氏が高齢者叙勲（瑞宝単光章）を授章された。
- 12月 4日 穂別支署消防庁舎屋上防水改修工事を完了する。（一般事業）
穂別消防団第二分団詰所屋根・外壁塗装工事を完了する。（一般事業）
- 12月17日 安平支署に空気呼吸器用ボンベ4本を整備する。（石油交付金事業）
厚真支署に小型動力ポンプ1台を整備する。（石油交付金事業）
厚真消防団に消防団員用防火衣35着を整備する。（石油交付金事業）
穂別支署に消防緊急通報受信装置1式を整備する。（石油交付金事業）
- 12月20日 北海道胆振東部地震における活動により総務大臣より、安平消防団、厚真消防団、鵠川消防団、穂別消防団に感謝状が贈呈された。
- 12月26日 第3回議会定例会開催、職員の給与に関する条例の一部改正が承認される。

国内の主な事故・災害

- 1月22日 北日本から西日本にかけての日本海側で大雪となり、福島県で139cm、新潟県で124cm、東京で23cmなど広い範囲で大雪となった。5名が死亡、976名が負傷した。
- 1月23日 群馬県草津白根山より噴火が確認され噴火レベル3（入山規制）に引き揚げられた。1名が死亡、11名が負傷した。
- 2月 3日 北日本から東日本にかけ強い冬型の気圧配置が続き日本海側を中心に大雪と

- なり福島県で140cmの大雪となった。18名が死亡、315名が負傷した。住宅全壊2棟、半壊5棟などの被害が出た。
- 4月9日 島根県西部を震源とする地震が発生し島根県太田市で震度5強、出雲市、雲南市など震度5弱を記録し、9名が負傷した。住宅全壊13棟、半壊44棟などの被害が出た。
- 4月11日 大分県中津市で土砂崩落が発生した。6名が死亡した。住宅全壊4棟などの被害が出た。
- 4月19日 宮崎県霧島山で火山活動が活発になり噴火レベル3(入山規制)に引き上げられた。被害は無かった。
- 5月25日 長野県北部を震源とする地震が発生し長野県栄村で震度5強を記録した。人的被害及び建物の被害は無かった。
- 6月18日 大阪府北部を震源とする地震が発生し大阪府北区、高槻市など震度6弱を記録、大阪を中心に強い揺れとなった。4名が死亡、431名が負傷した。住宅全壊8棟、半壊87棟などの被害が出た。
- 6月28日 停滞前線及び台風7号の影響により、西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となり四国地方で1,800mm、東海地方で1,200mmを観測した。237名が死亡し、7月8日 8名が行方不明、432名が負傷した。住宅全壊6,767棟、半壊11,243棟などの被害が出た。
- 9月3日 台風21号の影響により西日本から北日本にかけて強い風が吹き、非常に激しい雨が降った。14名が死亡、943名が負傷した。住宅全壊26棟、半壊189棟などの被害が出た。
- 9月5日 5日
- 9月6日 北海道胆振地方中東部を震源とする地震が発生し北海道厚真町で震度7、安平町、むかわ町で震度6強を記録し、北海道全域で強い揺れとなった。42名が死亡、762名が負傷した。住宅全壊462棟、半壊1,570棟などの被害が出た。
- 9月29日 台風24号の影響により西日本及び東日本の太平洋側の広い範囲で、観測記録を更新する暴風・大雨・高波を観測した。1名が死亡し、1名が行方不明、195名が負傷した。住宅全壊14棟、半壊94棟などの被害が出た。
- 9月30日
- 12月16日 北海道札幌市で可燃性のスプレー缶が大量に爆発した。52名が負傷し、火元建物を含む41棟が損壊した。

平成31年／令和元年

2019年

- 1月22日 厚真支署消防救急デジタル無線施設修繕(光ケーブル共架施設修繕)を完了する。(胆振東部地震に伴う修繕)
- 1月25日 鶴川支署に資機材搬送車1台を整備する。(石油交付金事業)
- 1月30日 安平消防団追分分団に積載車1台を整備する。(石油交付金事業)
- 1月31日 胆振東部消防組合公共施設等総合管理計画策定委託業務を完了する。(一般事業)
- 職員1名が依願退職する。(実員107名)
- 2月10日 北海道胆振東部地震における活動により消防庁長官より、厚真消防団、鶴川消防団、穂別消防団に防災功労者消防庁長官表彰を授与された。

- 2月20日 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金を造成する。
 (令和2年度 厚真支署 救助工作車整備)
 (令和4年度 厚真支署上厚真分遣所 大型化学高所放水車整備)
 穂別支署第三分団モーターサイレン制御線敷設工事を完了する。(一般事業)
- 2月21日 北海道胆振地方中東部を震源とする地震が発生し、管内厚真町で震度6弱、安平町及びむかわ町で震度5強を記録し、厚真消防団・安平消防団・穂別消防団が警戒活動を行った。
- 2月27日 安平支署消防庁舎設備復旧修繕(温水器・空調設備修繕)を完了する。(胆振東部地震に伴う修繕)
- 2月28日 上厚真地区サイレン操作ケーブル張替工事を完了する。(道路整備に伴う張替工事)
 鶴川支署消火栓開閉弁損傷修繕(消火栓取替修繕)を完了する。(胆振東部地震に伴う修繕)
- 3月28日 第1回議会定例会開催、消防団員の定員、任免、報酬、服務等に関する条例の一部改正・職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正が承認される。
 鶴川支署タンク1車修理(車両運転席側側面艤装部分の修理)を完了する。(胆振東部地震に伴う修理)
- 3月29日 安平支署消防庁舎外壁及び床クラック補修工事を完了する。(胆振東部地震に伴う補修工事)
 安平支署車庫前舗装復旧工事を完了する。(胆振東部地震に伴う復旧工事)
 追分出張所舗装復旧工事を完了する。(胆振東部地震に伴う復旧工事)
 安平消防会館復旧工事を完了する。(胆振東部地震に伴う復旧工事)
 厚真支署消防庁舎災害復旧修繕(防水・笠木・車庫天井・外壁修繕・地盤修復)を完了する。(胆振東部地震に伴う復旧修繕)
- 3月31日 職員1名が定年退職する。
 再任用職員1名が任期満了により退職する。(実員105名)
- 4月1日 消防本部立石恵輝次長・消防本部横井幸男総務課長・消防本部稲葉博徳防災課長が就任する。
 新職員1名を採用する。(実員106名)
 監査委員(識見を有する者)に佐藤公博氏が再任される。
- 4月28日 北海道十勝地方南部を震源とする地震が発生し、管内安平町・厚真町及びむかわ町で震度4を記録し、穂別消防団が警戒出動を行った。
- 5月21日 元安平消防団分団長の森田喜明氏が春の叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
 元厚真支署副支署長の堀正幸氏が危険業務従事者叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
- 5月24日 第1回議会臨時会開催、議長に大捕孝吉議員が当選する。
- 6月30日 職員1名が依願退職する。(実員105名)
- 8月28日 第2回議会定例会開催、消防職員定数条例の一部改正・消防団員の定員、任免、報酬、服務等に関する条例の一部改正・手数料条例の一部改正が承認される。
- 9月1日 北海道胆振東部地震における活動により内閣総理大臣より、厚真消防団、鶴川

- 消防団、穂別消防団に防災功労者内閣総理大臣表彰を授与された。
- 9月10日 安平支署防火水槽改修工事を完了する。(胆振東部地震に伴う改修工事)
- 9月30日 安平支署消防庁舎駐車場アスファルト補修事業を完了する。(胆振東部地震に伴う補修事業)
- 厚真支署デジタル無線蓄電池交換修理(美里基地局)を完了する。(一般事業)
- 10月 1日 新職員 1 名を採用する。(実員106名)
- 11月 3日 元鵲川消防団分団長の福井勝美氏が秋の叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
元安平支署長の畠山與志則氏が危険業務従事者叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
- 11月26日 穂別支署消防庁舎地震災害修繕工事を完了する。(胆振東部地震に伴う修繕工事)
- 12月 4日 鵲川支署に消防用ホース20本を整備する。(一般事業)
- 12月 5日 厚真支署消防庁舎災害復旧工事を完了する。(単独災害復旧事業)
- 12月11日 追分出張所に救助用資機材 1 式を整備する。(石油交付金事業)
- 12月11日 穂別支署車庫前地震災害舗装工事を完了する。(胆振東部地震に伴う補修工事)
- 12月20日 鵲川消防団前田嗣夫団長が北海道開発局水防功労者表彰を授与された。
- 12月24日 第 3 回議会議定例会開催、職員の給与に関する条例の一部改正・火災予防条例の一部改正が承認される。
- 12月25日 安平支署モーターサイレン及びサイレン塔工事を完了する。(石油交付金事業)
- 12月26日 追分出張所消防庁舎耐震改修工事实施設計委託業務を完了する。(社会資本交付金事業)
- 12月31日 近藤泰行氏が厚真町副町長の退任に伴い、副管理者を退任する。
職員 1 名が依願退職する。(実員105名)

国内の主な事故・災害

- 1月 3日 熊本県熊本地方を震源とする地震が発生し、熊本県和水町で震度 6弱、熊本市北区・玉東町で震度 5弱を記録した。4名が負傷し、住宅一部損壊60棟の被害が発生した。
- 1月 4日 神奈川県横浜市で鉄骨造地上10階建て簡易宿泊所から出火、73㎡を焼損し、2名が死亡、8名が重軽傷を負った。
- 2月21日 北海道胆振地方中東部を震源とする地震が発生し、管内厚真町で震度 6弱、安平町・むかわ町で震度 5弱を記録した。道内で 6名が負傷し、住宅一部損壊19棟の被害が発生した。
- 5月 8日 滋賀県大津市で普通乗用車と軽自動車の接触事故により、軽自動車が保育園児の列に突っ込み、15名が重軽傷者を負った。
- 5月28日 神奈川県川崎市多摩区登戸の路上で発生した通り魔事件は、スクールバスを待っていた児童や保護者を包丁で次々に襲い、2名が死亡、18名が重軽傷を負った。
- 6月18日 山形県沖を震源とする地震が発生し、新潟県村上市で震度 6強、山形県鶴岡市震度 6弱を記録した。山形県、新潟県等で43名が負傷し、住宅半壊35棟、一部損壊1,625棟の被害が発生した。

- 7月18日 京都府京都市伏見区のアニメーション制作会社で放火による火災が発生し、地上 3階、延べ面積691.02㎡を全焼、36名が死亡、35名が重軽傷を負った。
- 8月 7日 長野県浅間山の山頂火口付近で噴火が発生し、地元消防機関により、避難誘導、警戒活動等を行う。
- 9月 5日 神奈川県横浜市神奈川区で電車と大型トラックの事故により、1名が死亡、30名が重軽傷を負った。
- 9月 5日 強い勢力の台風15号(令和元年房総半島台風)は、千葉市付近に上陸し、関東地方では激しい雨が降り、猛烈な風が吹いて観測史上1位の最大風速や最大瞬間風速を観測した。また、千葉県を中心に大規模停電等の被害が出た。3名が死亡、150名が重軽傷、住宅全壊391棟、半壊4,204棟、一部損壊72,279棟等の被害が発生した。
- 10月 6日 大型で非常に強い勢力の台風19号(令和元年東日本台風)は、西日本から東日本の太平洋側を中心に激しい雨を降らせ、12日に伊豆半島に上陸、関東・甲信越・東北地方は記録的大雨に見舞われ、土砂崩れや河川の堤防決壊・氾濫が広範囲に及んだ。その後も前線や低気圧の影響で、東日本太平洋側沿岸部で雷を伴った非常に激しい雨が降り続いた。13都道府県で災害関連死を含む99名が死亡、380名が重軽傷、住宅全壊3,225棟、半壊28,882棟、一部損壊31,735棟の被害が発生した。
- 10月31日 沖縄県那覇市の木造 3階建て首里城正殿から出火し、北殿・南殿等に延焼、6棟約4,200㎡をほぼ全焼した。
- 11月 2日 鹿児島県硫黄島の硫黄岳で噴火が発生し、地元消防機関により、防災行政無線による住民への注意喚起、火口周辺の警戒活動等を行う。
- 12月12日 北海道宗谷地方北部を震源とする地震が発生し、豊富町で震度5弱を記録した。
- 12月19日 青森県東方沖を震源とする地震が発生し、青森県階上町で震度5弱を記録した。

令和 2 年

2020年

- 1月 1日 西野和博氏(厚真町副町長)が副管理者に選任される。
- 1月31日 穂別支署に非常用発電機1台を整備する。(石油交付金事業)
- 2月 1日 元追分消防団分団長の村上英司氏が高齢者叙勲(瑞宝単光章)を受章された。
- 2月20日 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金を造成する。
(令和2年度 厚真支署 救助工作車整備)
(令和4年度 厚真支署上厚真分遣所 大型化学高所放水車整備)
- 2月27日 鶴川支署に小型動力付水槽車1台を整備する。(石油交付金事業)
- 3月24日 第1回組合議会定例会を開催した。
- 3月31日 消防本部宮坂賢一消防長・消防本部齊藤茂樹課長・厚真支署海沼和三支署長・穂別支署長谷部 進支署長他1名が定年退職する。
職員3名が依願退職する。(実員97名)
- 4月 1日 消防本部松永忠昭消防長・消防署稲葉博徳署長・厚真支署工藤芳一支署長・穂

- 別支署前田 尚支署長が就任する。
 新職員10名を採用する。
 再任用職員 2名を採用する。(実員109名)
 厚真消防団五十嵐次男団長が再任された。
 元穂別消防団分団長の深谷時男氏が高齢者叙勲(瑞宝単光章)を受章された。
- 4月29日 元安平消防団分団長の太塚 武氏が春の叙勲(瑞宝単光章)を受章された。
 元消防本部消防長の藤原 一氏が危険業務従事者叙勲(瑞宝双光章)を受章された。
- 6月30日 穂別消防団清川三十四団長が退団された。
- 7月 1日 穂別消防団団長に児玉孝義氏が就任された。
- 7月29日 厚真支署に災害出動用デジタルランシーバー30台を整備する。(消防団設備整備費補助金)
- 8月27日 第2回組合議会定例会を開催した。
- 8月31日 職員 1名が依願退職する(実員108名)
- 9月15日 穂別支署事務所側地震災害舗装工事を完了する。(一般事業)
- 10月 9日 追分出長所消防庁舎耐震改修工事を完了する。(社会資本整備総合交付金事業)
- 10月23日 厚真支署にエアーテント 1式を整備する。(石油交付金事業)
- 10月28日 安平支署追分出長所の防災資器材倉庫建設工事を完了する。(一般事業)
- 11月 3日 元安平支署長大島 明氏が危険業務従事者叙勲(瑞宝単光章)を受章された。
- 11月30日 第1回議会臨時会開催、胆振東部消防組合職員の給与に関する条例の一部改正が承認される。
- 12月10日 厚真支署に空気呼吸器用ボンベ 9本を整備する。(石油交付金事業)
- 12月 7日 安平支署に消防救急デジタル無線機用蓄電池 1式を整備する。(一般事業)
 鵠川支署に消防救急デジタル無線機用蓄電池 1式を整備する。(一般事業)
- 12月 8日 厚真支署に感染症患者搬送装置 1式を整備する。(一般事業)
 鵠川支署に感染症患者搬送装置 1式を整備する。(一般事業)
 穂別支署に感染症患者搬送装置 1式を整備する。(一般事業)
- 12月 9日 鵠川支署に消防用ホース20本を整備する。(一般事業)
 鵠川支署に空気呼吸器用ボンベ 8本を整備する。(一般事業)
- 12月11日 厚真支署に消防用小型動力ポンプ 1台を整備する。(石油交付金事業)
- 12月15日 穂別支署に消防救急デジタル無線機用蓄電池 1式を整備する。(一般事業)
- 12月17日 厚真支署に指揮広報車 1台を整備する。(石油交付金事業)
- 12月24日 安平支署に背負い式消火水のう50台を整備する。(石油交付金事業)
- 12月28日 第3回議会定例会開催、胆振東部消防組合火災予防条例の一部改正が承認される。

国内の主な事故・災害

- 1月30日 北海道占冠村字中トマムトマムスキー場外(三角沢左側斜面)で雪崩の発生により 8名が巻き込まれ 1名が死亡した。
- 5月20日 奈良県五條市で木造 2階建て一般住宅から出火、建物を半焼し 5名が死亡した。

- 6月25日 千葉県東方沖を震源とする地震が発生し、千葉県旭市で震度5弱を記録し2名が負傷した。
- 7月 3日 梅雨前線の活動が非常に活潑で、西日本や東日本で大雨となり特に九州では4日から7日は記録的な大雨となった。また、岐阜県周辺では6日から激しい
- 31日 雨が断続的に降り6日から8日にかけて記録的な大雨となり気象庁は、熊本県、鹿児島県、福岡県、佐賀県、長崎県、岐阜県、長野県の7県に大雨特別警報を発表した。その後も前線は本州付近に停滞し、13日から14日にかけては中国地方を中心に、26日から29日にかけては東北地方を中心に大雨となった。7月3日から7月31日までの総降水量は長野県や高知県の多い所で2,000mmを超え、84名が死亡し、行方不明2名の他78名が負傷、建物全壊1,621棟、半壊4,504棟、一部損壊3,503棟の被害が発生した。
- 9月 5日 大型で非常に強い勢力の台風10号は、南西諸島と九州に接近し長崎県野母岬
- 7日 で常に強い風を観測した。宮城県日向沖で11.4m、鹿児島県屋久島で10.4mの高波が観測され宮崎県神門で、4日から7日までの総降水量は599.0mmとなり、死者3名、行方不明者3名、重軽傷者109名、建物全壊5棟、半壊34棟、一部損壊1,398棟の被害が発生した。

令和 3 年

2021年

- 1月 7日 安平支署に消防用ホース50本を整備する。(石油交付金事業)
厚真支署上厚真分遣所に消防用ホース36本を整備する。(石油交付金事業)
穂別支署に消防用ホース30本を整備する。(石油交付金事業)
- 1月 8日 穂別支署(富内・仁和地区)にモーターサイレン2式を整備する。(石油交付金事業)
- 2月 5日 鵜川支署に指令車1台を整備する。(石油交付金事業)
- 2月19日 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金を造成する。
(令和4年度 安平支署 消防ポンプ自動車(CD-I型)整備)
(令和4年度 厚真支署上厚真分遣所 大型化学高所放水車整備)
- 2月22日 厚真支署・上厚真分遣所に資機材搬送車各1台を整備する。(石油交付金事業)
- 2月24日 厚真支署に救助工作車(II型)1台を整備する。(石油交付金事業)
- 2月26日 安平支署に資機材搬送車1台を整備する。(石油交付金事業)
- 3月15日 鵜川支署にオゾン除染機器1式を整備する。(一般事業)
穂別支署にオゾン除染機器1式を整備する。(一般事業)
- 3月17日 鵜川町宮戸地区の旧第三分団詰所防火水槽撤去工事を完了する。(一般事業)
- 3月23日 第1回議会定例会を開催した。
- 3月24日 安平支署・追分出張所に感染症患者搬送装置各1式を整備する。(一般事業)
- 3月31日 安平支署寺島博一支署長・鵜川支署齊藤 実支署長・穂別支署前田 尚支署長
他1名が定年退職する。
再任用職員1名が任期満了により退職する。(実員103名)
- 4月 1日 消防本部蛸子雅文企画管理課長・追分出張所米倉俊也所長・鵜川支署三上文敏

- 支署長・穂別支署酒井 裕支署長が就任する。
 新職員 5 名を採用する。(実員108名)
 鷗川消防団前田嗣夫団長が再任する。
- 4月29日 元厚真支署長の吉村正弘氏が危険業務従事者叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
 5月20日 消防本部にパーソナルコンピューター7台を整備する。(一般事業)
 6月 2日 鷗川支署消防庁舎外構工事を完了する。(緊急防災・減災事業)
 6月30日 職員1名が依願退職する。(実員107名)
 6月30日 穂別消防団清川三十四団長が退団された。
 7月 1日 穂別消防団長に児玉孝義氏が就任された。
 8月24日 第2回議会定例会を開催、人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定・職員の給与に関する条例の一部改正・職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正が承認される。
- 9月13日 穂別支署に3連梯子1式を整備する。(石油交付金事業)
 10月 1日 新職員1名を採用する。(実員108名)
 10月 8日 安平支署追分出長所消防庁舎煙突改修工事を完了する。(一般事業)
 安平支署追分出長所消防庁舎扉改修工事を完了する。(一般事業)
 10月12日 安平支署に消防用ホース110本を整備する。(石油交付金事業)
 穂別支署に消防用ホース50本を整備する。(石油交付金事業)
- 11月 3日 元安平消防団副団長の町田道夫氏が秋の叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
 元追分出張所長岩佐 弘氏が危険業務従事者叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
 11月16日 職員1名が依願退職する。(実員107名)
 12月 1日 元厚真消防団副分団長の田中光雄氏が高齢者叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
 穂別支署(豊田地区)にモーターサイレン1式を整備する。(石油交付金事業)
 12月15日 消防本部に防火服5式を整備する。(一般事業)
 12月16日 鷗川支署に消防用ホース20本を整備する。(一般事業)
 12月23日 第3回組合議会定例会開催、財政調整基金条例の制定が承認される。

国内の主な事故・災害

- 1月19日 宮城県大崎市、東北自動車道下り377.6キロポスト付近で車両141台が関係する多重事故が発生し、死者1名、負傷者18名の被害があった。
- 2月13日 福島県沖を震源とする地震が発生し、福島県相馬市、国見市、新地町、宮城県蔵王町で震度6強を記録、死者2名、負傷者186名、住宅被害36,299棟の被害があった。
- 2月21日 栃木県足利市で林野火災が発生し、林野約106ha、両崖山山頂付近の御岳神社が全焼となり、西宮町地区に避難勧告が発令され305世帯610人が避難し、火災発生から22日後の3月15日に鎮火した。
- 3月20日 宮城県沖を震源とする地震が発生し、宮城県仙台市、石巻市、岩沼市などで震度5強を記録、宮城県に津波注意報が発令された。
- 4月22日 群馬県みどり市で林野火災が発生し、人的被害死者1名、住宅被害3棟焼損、林野被害約40haの被害があった。
- 6月23日 鹿児島県諏訪之瀬島の御岳火口で噴火が発生し、災害対策本部の設置を行い

警戒活動等を行う。

- 7月 1日 西日本から東日本にかけて停滞する前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み大気の状態が不安定となったため、東海地方から関東地方南部を中心に記録的な大雨となった。7月3日、静岡県熱海市で土石流が発生し、死者26名、行方不明者 1名、負傷者 3名、住宅全壊54棟・半壊11棟・一部破損34棟の被害があった。
- 10月31日 東京都調布市で発生した京王線の車両火災は、列車内で男が刃物を振り回し、油とみられる液体をまき火をつけたもので、列車のシートが焼損し、負傷者18名の被害があった。
- 11月29日 大阪市此花区で発生した倉庫火災は、負傷者1名、焼損面積約38,700㎡の被害となり、発生から 5日後の12月4日に鎮火した。
- 12月17日 大阪市北区で発生したビル火災は、4階のクリニック出入り口付近で激しく燃え、死者27名、負傷者 1名、建物被害25㎡の焼損の被害があった。

令和 4 年

2022年

- 1月27日 安平支署に指揮広報車 1 台を整備する。(石油交付金事業)
- 1月28日 鷗川支署に高規格救急自動車 1 台を整備する。(石油交付金事業)
- 1月31日 厚真支署に防火服25式を整備する。(石油交付金事業)
鷗川支署に消防庁舎事務所用家具を整備する。(一般事業)
鷗川支署に防火服18式を整備する。(一般事業)
- 2月 4日 穂別支署資機材倉庫建設工事を完了する。(一般事業)
- 2月14日 安平支署にデジタル無線機用蓄電池 1 式を整備する。(一般事業)
- 2月18日 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金を造成する。
(令和 4 年度 安平支署 消防ポンプ自動車 (CD-I 型) 整備)
(令和 4 年度 厚真支署上厚真分遣所 大型化学高所放水車整備)
- 3月 8日 鷗川支署消防庁舎建設工事 (建築主体・機械設備・電気設備) を完了する。
(緊急防災・減災事業)
- 3月10日 厚真支署にデジタル無線機用蓄電池 1 式を整備する。(一般事業)
穂別支署にデジタル無線機用蓄電池 1 式を整備する。(一般事業)
- 3月14日 鷗川支署消防庁舎外構工事第 2 工区を完了する。(緊急防災・減災事業)
- 3月23日 第 1 回議会定例会を開催、職員の給与に関する条例の一部改正・消防団員の定員、任免、報酬、服務等に関する条例の一部改正・職員の育児休業等に関する条例の一部改正が承認される。
- 3月31日 消防本部松永忠昭消防長・消防本部立石恵輝次長・鷗川支署三上文敏支署長が定年退職する。(実員104名)
再任用職員 1 名が任期満了により退職する。(実員103名)
- 4月 1日 消防本部稲葉博徳消防長(兼署長)・消防本部横井幸男次長・消防本部中村浩美総務課長・消防本部関根 徹課長・鷗川支署五十嵐康広支署長が就任する。
新職員 4 名を採用する。(実員107名)

- 再任用職員 2 名を採用する。(実員109名)
- 4月29日 元厚真消防団副団長の木本年幸氏が春の叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
元鶴川支署長の田村 智氏が危険業務従事者叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
- 5月 1日 元厚真消防団分団長の齊藤 泉氏が高齢者叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
- 5月23日 第1回議会臨時会を開催、議会副議長に佐藤 守氏、議員監査委員に工藤秀一氏が選任された。
- 6月 1日 元追分消防団分団長の岡本勇夫氏が高齢者叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
- 8月14日 職員 1 名が死亡退職する。(実員108名)
- 8月24日 第2回議会定例会を開催、職員の育児休業等に関する条例の一部改正が承認される。
- 9月12日 穂別支署に消防用ホース15本を整備する。(一般事業)
- 11月 3日 元穂別消防団団長の清川三十四氏が秋の叙勲(瑞宝双光章)を授章された。
元安平支署長の蘇武光昌氏が危険業務従事者叙勲(瑞宝単光章)を授章された。
- 11月28日 第2回議会臨時会を開催、職員の給与に関する条例の一部改正が承認される。
- 12月27日 第3回議会定例会を開催、職員の定年等に関する条例の一部改正・地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定が承認される。
- 12月31日 職員 1 名が依願退職する。(実員107名)

国内の主な事故・災害

- 2月11日 新潟県村上市で鉄骨造地上2階建て製菓工場から出火、8,832㎡を焼損し、死者 6名、負傷者 1名の被害があった。
- 3月16日 福島県沖を震源とする地震が発生し、宮城県登米市、蔵王町、福島県相馬市、国見市で震度 6強を記録、死者 4名、負傷者 251名、住宅56,935棟の被害があった。
- 4月23日 北海道知床半島の沖合で乗客乗員26名が乗った観光船「KAZUI」が沈没し、20人が死亡、6人が行方不明となる事故が発生した。
- 8月 3日 低気圧に伴う前線が北陸地方で停滞し、台風第 6号を起源とする暖かく湿った空気が流れ込んだため、東海地方と北陸地方を中心に断続的に猛烈な雨が降り、記録的な大雨となった。8日には再び前線が北日本に延びて停滞し、13日にかけて、北海道地方や東北北部では記録的大雨になった。この大雨により死者 2名、行方不明者 1名、負傷者 9名、住宅全壊28棟・半壊 586棟・一部破損 337棟の被害があった。
- 12月17日 日本の上空に強い寒気が流れ込み、日本付近は17日から強い冬型の気圧配置となった。北日本から西日本の日本海側で大雪となり、福島県会津や山形県で
- 22日 は19日にかけて24時間降雪量が 100センチを超えた。この大雪により死者 7名、負傷者43名、住宅一部損壊 4棟の被害があった。

令和 5 年 2023 年

- 1月29日 厚真消防団団長の五十嵐次男氏のご逝去される。
死亡叙勲（瑞宝双光章）を授与された。
- 2月 1日 厚真消防団団長に澤山愼一氏が就任された。
- 2月17日 厚真支署に救急隊員用感染防止衣24式を整備する。（一般事業）
- 2月20日 石油貯蔵施設立地対策等交付金基金を造成する。
（令和5年度 厚真支署上厚真分遣所 大型化学高所放水車整備）
（令和5年度 穂別支署 指令車整備）
- 2月24日 安平支署に消防ポンプ自動車1台を整備する。（石油交付金事業）
- 2月28日 鵠川支署に指令車1台を整備する。（石油交付金事業）
- 3月24日 鵠川支署にサイレン塔及びびモーターサイレンを整備する。（一般事業）
- 3月27日 消防本部に防火服6式を整備する。（一般事業）
穂別支署に防火服18式を整備する。（一般事業）
- 3月23日 第1回議会定例会を開催、胆振東部消防組合情報公開・個人情報保護に関する条例、議会議員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正が承認される。
- 3月31日 消防本部稲葉博徳消防長・消防本部横井幸男次長・安平支署小笠原規人支署長、
追分出張所米倉俊也敏也所長他2名が定年退職する。（実員101名）
職員1名が依願退職する。（実員100名）
- 4月 1日 消防本部稲葉博徳消防長・消防本部横井幸男次長・消防本部関根徹署長・安平支署森田正人支署長、
追分出張所柳田辰男所長が就任する。
新職員6名を採用する。（実員106名）
再任用職員2名を採用する。（実員108名）
- 4月29日 元安平消防団団長の井上一雄氏が春の叙勲（瑞宝双光章）を授章された。
元安平支署長の福田正幸氏が危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）を授章された。
- 5月19日 第1回議会臨時会を開催、議会議長に秋永 徹氏が選任された。
- 6月27日 鵠川支署にソフトランディングを整備する。（一般事業）
- 8月29日 第2回議会定例会を開催、北海道市町村職員退職手当組合規約の変更、議会議員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正、火災予防条例の一部改正が承認される。
- 11月 3日 元追分出張所長の岡田悟氏が危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）を授章された。
- 11月21日 第2回議会臨時会を開催、職員の給与に関する条例の一部改正が承認される。
- 12月15日 安平支署に防火服27式を整備する。（石油交付金事業）
安平支署に油圧救助資機材1式を整備する。（石油交付金事業）
厚真支署に空気呼吸器9式を整備する。（石油交付金事業）
- 12月26日 第3回議会定例会を開催、議会議員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正、火災予防条例の一部改正が承認される。

国内の主な事故・災害

- 1月24日 日本の上空に寒気が流入し、南西諸島を除く日本の広い範囲で過去10年の最低気温を記録、南西諸島から東日本ににかけ1月の記録を超える暴風となり、死者 8名 負傷者120名の被害があった。

- 5月 5日 石川県能登地方を震源とする地震が発生し、石川県珠州市で震度6強を記録、死者1名、負傷者44名、住宅7397棟の被害があった。
- 5月31日 台風2号は梅雨前線が本州付近に停滞し、西日本から東日本の太平洋側を中心に大雨となり死者5名、負傷者42名の被害があった。
- 6月28日 活発的な梅雨前線や上空の寒気の影響により、沖縄地方を除く全国的に大雨となり死者13名、負傷者14名の被害があった。